新真婦人

SHIN SHIN FUJIN

新真婦人

第三週年紀念號

四月號 〔第三十六號〕

罪なくして離縁されんとする場合、女の執るべき態度に就て
(但し數人の子供ある場合)

本號には此の問題に關する

新渡戸博士　安部磯雄　岡田哲藏
山田わか　仙村はつ　西川ふみ
黒百合　佐治實然　中尾清太郎
岩野清　中里介山　沖野岩三郎
齋藤ドクトル　奈良林院長　青柳有美
吉田弦二郎　鈴木龍司　大澤とよ
神近市　林靜太　福島貞子

諸氏の高論卓説を收む

家族に共通の長所短所　西川光次郎

伊吹氣の説　川面凡兒

自然療法講義(四)　ドクトル　葛岡宗吉

大正五年四月一日發行(毎月一回一日發行)大正二年四月[illegible]
(第三種郵便物認可)大正五年三月二十六日印刷納本

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察　毎朝及毎夕　但祭日及日曜之他
院長診察月、金、木午前及木午後六時
林、峰間、兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ヶ谷見附內）

東洋內科醫院

電話番町 六二番

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後入院診後應需
診察　毎朝　但祭日及日曜及土曜之他

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文學博士 三島中洲先生題字

陸軍教授
國學院大學講師 西村豐先生著

賜天覽

赤穗義士家庭

大石內藏助(第五版)

菊判洋裝總クロース表題大石氏眞蹟花押
美本正價金壹圓送料金八錢

本書は忠勇芳烈二百年後の今日と雖ども、尙は且つ世人が謳歌稱賛嘖々として措かざる、赤穗義士の頭領大石氏の家庭を解剖詳叙して、我が國武士道の由來を明かにし、以て普れく青年子女の讀み物に供し、精神修養の資料たらしめんとす

抑本書の著者西村先生は、豐富の學殖と特種の興味とを以て、夙に是等義士の事蹟に對して、研鑽探究に從事せらるゝこと、實に十有餘年の久しき殆んど一日の如く、其の間非常の苦心と勞力とを以て、蒐集せる材料の如きも今や積んで山の如し、既に斯る多大の材料を有せらるゝにも拘らず今回此書を編するに當り、上は內閣文庫の藏書、諸家記錄、古文書、及帝國大學史料編纂所の所藏に係る、義士關係史料等より、下は民間閭巷に散在せる稗史小說の類は固より苟くも義士に關するものは、斷簡零墨遺石といへども剩す所なく、皆悉く引據參照せらるゝに至りたれば、考證の正確なると前人未發の事實多きとは眞に驚くの外なし加之ならず行文亦平易流暢にして婉曲雅馴を極めたれば、義士の精神面目躍如として紙上に活動し、讀む者をして、或は怒り或は泣き或は笑ひ、吾を忘れて拍案快哉を叫ばしむるに至らん、試みに燈下一たび之を繙かば、鷄鳴曉を告ぐるも卷を斂ふに忍びざるなり

見よ!!時代要求の珍書出りた高評嘖々

前判事法學士荘田要二郎先生序醫學士佐々木金二郎先生序
新眞婦人主筆西川文子女史序ドクトル鈴木蘇先生跋
鴨田修治著

産兒制限論
一名避妊の研究

忽六版

全一冊 正價五拾錢 箱入頗美本 小包料八錢

●少しく産で多く敎育せよとは本書の主眼なり、今や避妊の研究は既に實行時代に入りて成績顯著なり、是れ世界を風靡せる生活難救濟、子孫繁榮の一大根本策請ふ一讀あれ

新刊

整形

隆鼻法

ドクトル下田良敬序日本藥學協會主幹鴨田修治著洋綴美本 價四十錢

「附鼻病療法」(送料免す)

鼻の低き人、形の惡き人は勿論醫者も見よ本書の指示せる療法又は矯正せば容易に高くなり眞天や獅々鼻、團子鼻、煙突鼻の如きも正しき美形の鼻となる良書なり

第四版

どもり矯正法

陸軍教授西村豐序鴨田修治著●洋綴金文字入美本 價金四十錢

●本書は墺國醫學博士コオン氏の『ドモリ』矯正法に則り著者が研究の結果世に公にせし者也此書に就て矯正せば如何に『ヒドキ』ドモリの人にても數十日の練習にて矯正し得る良書也

第十三版

最新

長身肥滿法

陸軍砲兵曹長興藤久登著●郵劵廿五錢附送あれば直ちに送本す

せの低き人
やせたる人

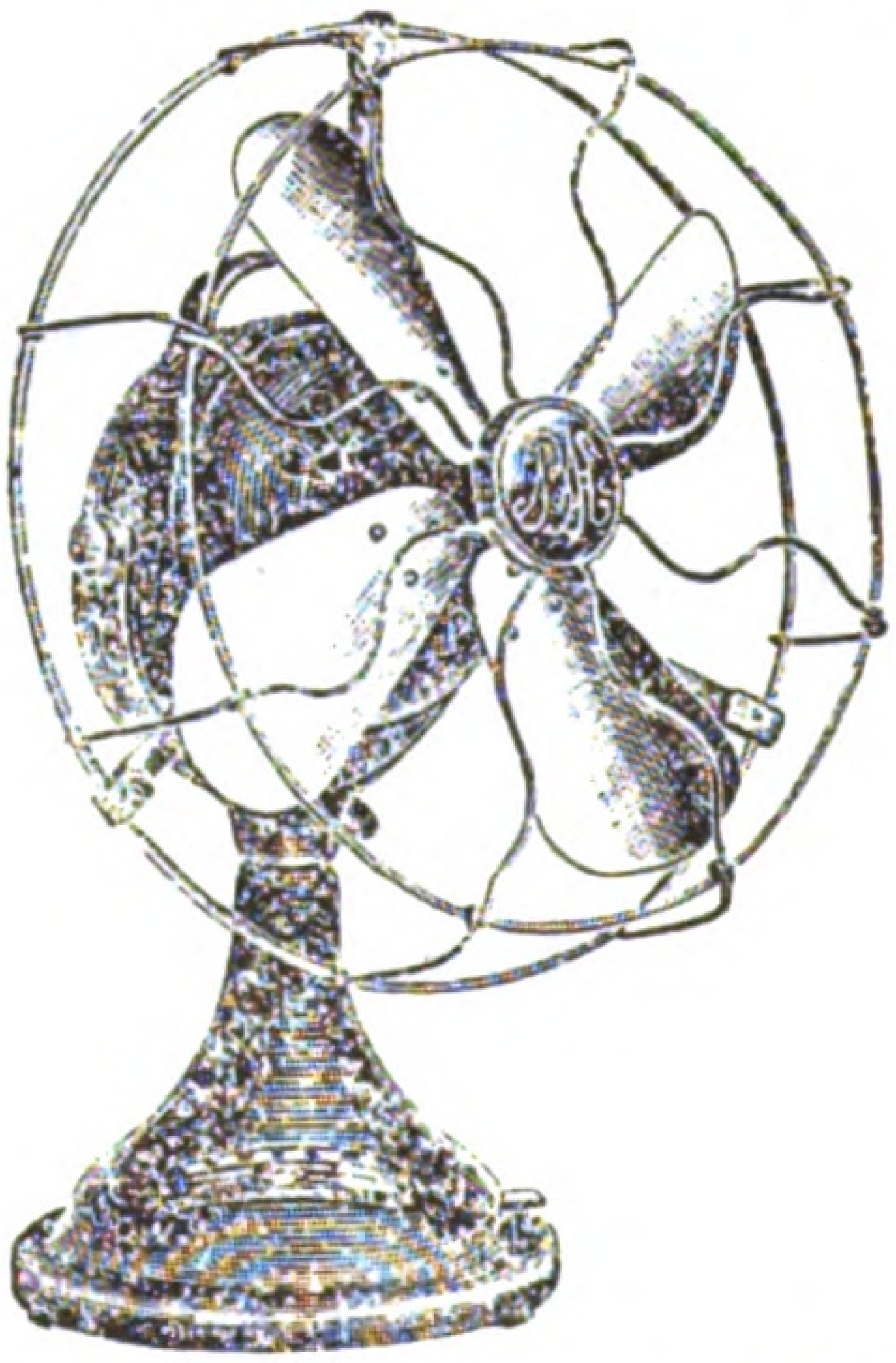
本書によれば高くなる病後産後其他生れ付の人にても忽ち肉付强健となる不思議の療法なり世間短軀又は痩て悲歎せる方は是非一讀あれ

東京市本鄉區丸山福山町四 日本藥學協會出版部

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Patent A.C. & D.C. Fan motors & Heaters

夏の物　冬の物



B.K.

卓上電氣扇

DESK AND BRACKET FANS.
12 INCHES AND 16 INCHES.

特色

專賣特許　二六一二一、二六一二二、二七五七九、二八四九〇、二八六八八

實用新案　二九一九三、三一二五七、三一九〇一、三一九〇二、三一九〇三、三二五二七、三三七〇三、三三九三一

歐米諸外國特許出願中

一成績　頗ル優良ニシテ回轉圓滑風力強キ割合ニ電氣ノ消費甚少ナシ

一構造　堅牢ニシテ永年使用ニ堪ユ

一體裁　優美高尙ニシテ室內裝飾ニ適ス

一應用　自在ニシテ調節自由ニ强弱ヲ變ズルコトヲ得

一種類　十二吋羽根、十六吋羽根、交流、直流、自働回轉、兩羽根等數種アリ

電氣焜爐

ストーブ兼用

本器ハ「ストーブ」ト焜爐トヲ兼用シ得ル體裁極メテ優美高尙ナル最新型ニシテ全重量約一貫匁取扱輕便眞ニ衞生ト實用トヲ具備セル逸品ナリ

本器ハ食卓ニ置キテ自由ニ「パン」又ハ牛鳥肉類ヲ炙煮スル裝置ニシテ薪炭ヲ用ヒズ單ニ鍋ヲ乘スルノミニテ料理セラルル文明的良器ナリ

●在庫豐富＝豫約及多數御注文に對しては特に御相談仕候　（目錄御申越次第進呈ス）

サンデン電氣商會

本店　東京市京橋區尾張町二丁目一九　（電話新橋特二四二二　振替口座東京一八四七三）

工場　東京市芝區高輪北町五十三番地　（電話芝二四二二）

支店　大阪市東區心齋橋筋博勞町南入西側　（電話南長二二〇五）

支店　横濱市吉田町一ノ二九　（電話一三九一番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四月號目次

表紙　平和の家庭に咲く四季の花　菊地入峰

口繪　子によりて甦れるもの　藤森靜雄

題言……（一）

子女は貰ひ受け、敎育費、養育費を要求せよ　西川文子…（二）

最早や夫の名譽などは　黑百合…（六）

さうした心持に生きよ　但村はつ子…（七）

子供は婦人の手より離すな　新渡戸稲造…（一〇）

生活費と子供の敎育費を要求せよ　佐治實然…（一一）

子供の利益が本位　山田わか…（一三）

獨立の下地　中尾淸太郎…（一五）

非結婚同盟　岩野淸…（一六）

因緣因果　中里介山…（一七）

私はカウ思ふ　沖野岩三郎…（一八）

最初を愼しむべし　ドクトル齋藤紀一…（二〇）

聖人の敎　ドクトル奈良林淺次郎…（二二）

法律に訴へて　安部磯雄…（二二）

精神上の自由　岡田哲藏…（二二）

三四年は　靑柳有美…（二三）

女の柔かい力によりて　吉田絃二郎…(一三)
純粋愛情で取扱ひたい　鈴木龍司…(一三)
狂せず亂せざるの修養　大澤とよ…(一四)
手近い手本　神近市子…(一四)
大體の心構へ　林静太…(一五)
當分別居位が第一手段　福島貞子…(一五)
問題は子供です　久米通子…(一六)
石汁の例へを思へ　呆木生…(一九)

花咲けば　唐澤純正…(三三)
セルギヤの女性　中尾清太郎…(三四)
亡き稲子へ　山本勇夫…(三六)
雪　太代子…(四一)
土の福音を讀みて　黒百合……(四六)

家庭健康顧問會趣意書　西川光次郎…(四八)
家族に共通の長所短所
伊吹氣の説　川面凡兒…(四九)
自然療法講義(四)　ドクトル 葛岡宗吉…(五〇)
音信　(五一より五六)

四月一日發行

花爛漫の快雜誌

講談倶樂部

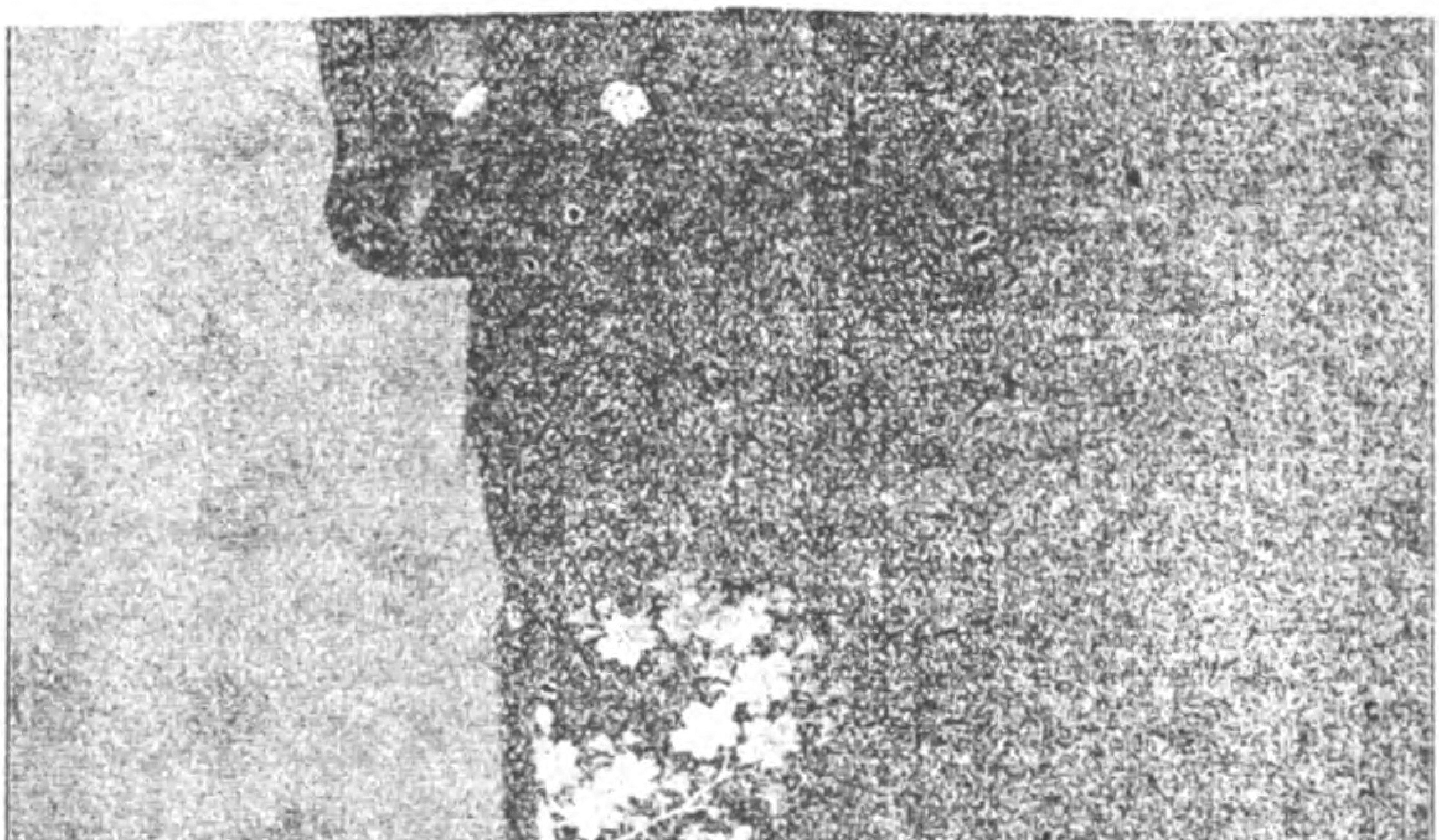
■武士と武士（武勇傳新講談）……夢想兵衛
□淡路通ひ（寫眞小說）……青柳白嶺
□上州の小安（俠客）……築波四郎
□小笹鐘三郎（新講談）……泉　斜汀
□支那兵暴動（新講談）……平山蘆江
□岡崎の猫（芝居靈談）……伊藤靜雨
▼活動寫眞と動物……旭　光
▼踏付け（落語）……鳥　鷲
▼漫畫數種……畫家數名
▼口繪挿畫優麗
▼盲景淸（新講談）……城　客
▼演藝注進藏……上野落葉
▼河村菊枝樣へ（女優月旦）
■神經衰弱、百軒長屋、金、（浮世講談）……岡柳惟一

幕末巷談 鷗茶屋（長篇新講談）……前田曙山

■新計畫の特別大懸賞――詳細本誌にあり
□結婚媒介（落語）……西村花心
□醍醐の花見（新講談）……小川靑雨
□地下室（探偵冒險）……市村俗佛
□戀と戀（卷繪小說）……夢想兵衛
□娘道成寺（浪花節）……京山幸玉
▼男女俳優と人相……天　岸
▼米の料理法……小此木武子
▼談洲樓燕枝……車　坂　生
▼二頁讀物豐富
京都大阪……青柳白嶺
新撰川柳……橋本生
演藝評判記……やまとや鳥平
■出世美談 花魁白酒（新講談）……翠　山

定價二十八錢 郵税二錢五厘
□四冊壹圓五拾五錢 □六冊壹圓六拾五錢
□十二冊三圓十錢（以上前金郵税共）

東京本郷 講談社 駒込坂下
電下二二五・四〇五四・六四九九
振替口座東京六六二九番



A號エンゼル香油は毛髮を黑化漆の如き光艶を出し毛根の最大肥料となる最高等の香油也

●●

B號エンゼル香油は如何なる天性の縮れ毛も自然に矯正する不思議の奇効ある特許香油也

市本郷區本郷一丁目

五六九番
七四三番
送認可

エンゼル商會

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

(廣告)

明治六年ヨリ引續キ洋傘ヲ營業ス。仙女香鞭杖ハ文政元年ニ開業ス。本店専ニ意ヲ注ギ精良品ヲ撰ビ安價ニ調進ス。

洋傘
鞭杖

流行新形各種

仙女香

坂本商店

東京市京橋區南傳馬町三丁目

電話京橋
一四四六

日清生命保險株式會社

社長 中野武營

事務取締役 池田龍一

東京丸の内

日本ココア（やまと）

袋入一個 二十錢
大罐一個 五十錢
郵税一袋入四個 八十錢
大罐二個 同 二十錢
小罐一個 二十五錢
小罐三個 八錢
市内無料
滿、朝、樺、臺 同 三十錢

原料ハ有効ナル果穀數種ヲ加ヘテ製シタル者ナレハ毫モ茶珈琲ノ如キ興奮性ヲ含有セス老幼何人ニモ四季ノ飲料ニ適スル滋養品ナリ。用法ハ適宜ノ砂糖ヲ加ヘ熱湯ニ溶キテ用フベシ又煉乳、及ビ少許ノ食鹽ヲ加フレバ風味更ニ佳ナリ價格亦廉。是非御試ミアランコトヲ乞フ（東京市内ハ御註文次第御屆申上候）

東京市小石川區武島町二十五

振替貯金東京六三三〇番

便宜堂商店

銀座一丁目河岸通（電話京橋八八五、一一六、三一四）

帝國貯蓄銀行

飯倉支店 飯倉三丁目
赤坂支店 赤坂一ツ木町
四谷支店 四谷大通リ
本郷支店 本郷一丁目
神樂坂支店 牛込神樂坂上
吾妻橋支店 淺草花川戸
須田町支店 神田須田町
両國支店 両國元柳町
品川支店 南品川一丁目
代理店 橫濱尾上町
代理店 日本橋坂本町田中銀行

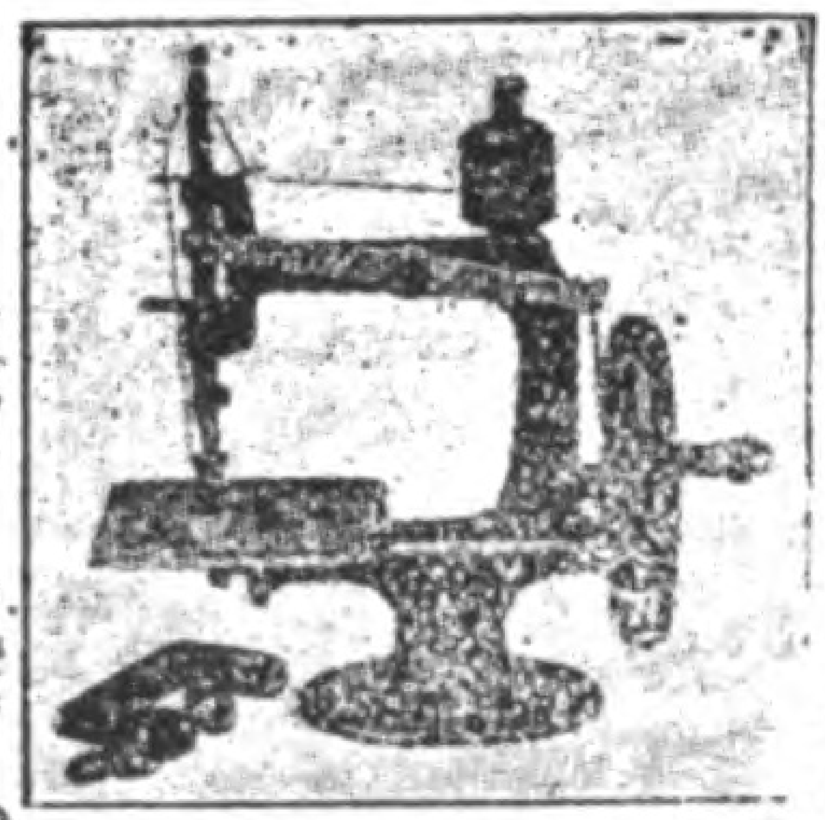
◎一錢以上何錢にても御預り申し便利に取扱申候◎毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

輕便實用
裁縫機械

姫ミシン

定價金參圓

荷造費送料（内地廿五錢、臺、樺、四共一個に付（十五錢、朝、滿五十五錢



所長　片桐謙光
相談役　久留島武彦
顧問　高島平三郎
顧問　巖谷小波

一本器の特色は少時の練習にて極めて簡易に裁縫し得るのみならず容易に解き得るが故に布片の地質を損せざる等本邦の仕立物には最とも適當せり單衣の着物は二時間以內袷は四時間以內に仕立上るを以て時間の經濟亦此の上もなし學校家庭用として目下非常なる歡迎を受けつゝあり

製造元　片桐製作所

東京淺草南元町五六（振替東京二四九一三）

男女 ちゞれ くせ毛 赤毛

は何程の難毛も自然に矯正黑化良き艶の出る最新發見專賣特許奇液を郵券封入申込の方に敎授し誓て美髪に治して差上升

東京四谷區南伊賀町

岩阪澄子

正味 袋入として

●洗濯石鹸の騰貴驚くに足らず

太陽コナ石鹸半額販賣

壹圓なれば　貳圓分
五拾錢なれば　壹圓分
廿五錢なれば　五拾錢分

新橋際　天下堂
神田小川町　天下堂
青山北町二ノ六　柳屋商會
電芝二一八八四番

婦人科榊病院長
醫學博士（ドクトルメヂチーネ） 榊順次郎先生發明
專賣特許出願中第二〇六二四號

サカキ式月經帶

附屬藥綿 半打（半ヶ年分） 金貳拾錢

定價金五拾錢

▼サカキ式月經帶は‖月經帶中最新式の發明品であります、それは是迄の經血を紙、綿、布切れ等に吸取り是れを浸透せぬものにて受けるばかりのお支度とはちがひ、全く其趣向をかへました理科學應用實用的唯一の月經帶であります。

▼その要點‖を申ますと第一、決して經血の流れ出る恐れのない事。第二、運動に支障のない事。第三、臭氣と腐敗がなく衞生的なる事。第四、着用交換共簡易なる事。第五、綿の使用量の少なく經濟的なる事。第六、子宮出血、產後の出血等にも用ひられて便利なる事。

製造元 內務大臣指定私立 日本產婆看護婦學校附屬
慈善產院
東京市麴町區三番町三十三番地
（電話番町三〇三三）（振替東京二一六二一番）

發賣元 日本產婆看護婦學校內
サカキ婦人藥月經帶藥綿本舖
東京市麴町區麴町一丁目十九番地

婦人の良藥

サカキ婦人丸	血の道一切にきく	七日分 金六十錢
サカキ惡阻藥	つわり一切にきく	七日分 金六十錢
サカキ流產豫防藥	流產を防ぎ子を丈夫にす	七日分 金六十錢
サカキ月經鎭痛藥	月やく凡ての痛によし	三日分 金三十錢
サカキ婦人球	子宮炎諸病に特効あり	九個 金五十錢
サカキ皮美クリーム	キメを細にしヒビ赤切によし	一個 十五錢

送料 市內四錢 市外八錢 朝鮮卅錢 樺太廿錢 臺灣廿錢

宮内省御用達

最上醤油元祖

ヤマサ醤油

開業二百七十一年

釀造元

濱口儀兵衛商店

千葉縣銚子港

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子によりて甦れるもの

藤森静雄作

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新刊

天才と遺傳

菊版布製美本 六百五十餘頁
正價 壹圓八十五錢
郵稅十二錢

英國 サー・フランシス・ゴルトン 原著
ドクトル 原口鶴子 譯述

偉人を作る必須の要素は言ふ迄もなく。教育と遺傳とである。著者は世界の大政治家、大法律家、大英雄、大著述家、大科學者、大詩人、大音樂家、大畫家、大宗教家等を選出し其血族關係を明にして天才遺傳の事實を立證し其裏面に伏在せる遺傳の法則を闡明し教育萬能の迷夢を根本的に粉碎してゐる。而して譯者は學才を以て天下に鳴れる才女にして本書は實に其絕筆である。其玲瓏玉の如き大文字は教育家、社會改良家、政治家を益すること尠なくないで有らう。

現代哲學

金子馬治 桂井當之助共譯
(第一編) ベルグソン 創造的進化
正價二圓二十錢 特價一圓八十錢 郵稅十二錢

ドクトル 金子馬治譯
(第三編) ニイチエ 悲劇の出生 善惡の彼岸
正價二圓二十錢 特價一圓八十錢 郵稅十二錢

本間久雄譯
(第二編) ヒルン 藝術之起源
正價一圓八十錢 特價一圓五十錢 郵稅十二錢

金子馬治校閲 田制佐重纂譯
(第四編) シラー プラグマティズム
正價二圓二十錢 特價一圓八十錢 郵稅十二錢

發行所 東京牛込早稻田 (振替一二一三) 早稻田大學出版部

賣捌 神田東京堂 日本橋至誠堂 京橋北隆館 京橋東海堂 大阪盛文館 名古屋星野 其他

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

祝三週年紀念號

東京電燈株式會社

東京市麴町區有樂町三ノ三

電話新橋
六六〇、一〇〇二、一〇〇四、
一一〇一
一〇〇三
一〇〇五

女といふ女の方の

肌身離さず御愛用遊ばす
自然の色艶を現す化粧料は

ホーカー液

宮内省
御買上

これは**ホーカー**液の品質が絶えず研究の結果改善されて居るからで厶います。常々お用ひ遊ばせば、色を白く、キメを細かに、アレを防ぎ、白粉のノリも思ひの儘に、上品なお化粧が出來ますから、東京では**ホーカー**液をお使ひ遊ばさねば、恥の樣になつて參りました。

新製品

思ひのまゝに而も自然らしい白さにつく
純白無鉛**ホーカー白粉**
（定價一瓶二十五錢送料八錢）

東京和泉橋
堀越嘉太郎

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

產科婦人科小兒科

鷲山改め
女醫　吉岡彌生

院長診察　宅診午前　往診午後
醫員診察　午　後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京麴町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

うみたてと衛生

古い卵は振ると「コト〱」音が致します

一、營養乏しく

一、健康を害するとあり

衛生滋養の爲め

うみたてを

召上れ

御進物はうみたてに限ります

十個以上直ぐ御屆け致ます

大澤養鶏場賣店（中野）

宮内省御用

東京鶏卵合資會社

神田佐柄木町（電車通）

電話本局三九四五番

コレクシヨンビスケット

臺輪の外に西洋人形十六種あり遊戯的珍菓にして風味よき品なり

右の外ビスケット及びドロップス數種あり

當社の製品は總べて優良にして評判よく賣行盛んなるを嫉み形狀を酷似たる粗悪品を製賣する奸商あり御注意御排斥あらんことを乞ふ

東京品川御殿山

各種ビスケットドロップス製造 東洋製菓株式會社

電話芝二三三番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本品は畏くも
皇后陛下を初め奉り
有栖川宮兩妃殿下　梨本宮妃殿下
伏見宮妃殿下　朝香宮妃殿下
閑院宮妃殿下　東久邇宮妃殿下
東伏見宮妃殿下　北白川宮妃殿下
華頂宮妃殿下　山階宮妃殿下
久邇宮兩妃殿下　賀陽宮妃殿下
竹田宮妃殿下
以上各　宮妃殿下擧つて御嘉納の榮を賜はりたり就んで玆に感謝の意を表し奉り併而本品愛用者各位に此光榮を頒つ

御後援
二條公爵閣下
土方伯爵閣下
大原伯爵閣下
鍋島侯爵令夫人御詠贈

外國(こつく)の人(ひと)もきそひてためすらむ
ならぶものなきこの化粧水(けはひみづ)
榮子

光榮無上
ミルド化粧液
ミルドは
普通の品と違つて博士や學士が澤山集まつて研究創製した學理的の新化粧料ですから之を用ふれば顔の色を白くしキメを善くしてアレや日焦を防ぎ見違ふばかり美化する偉力を具へて居ます、されば今東京に於ては畏くも高貴の御方々を初め奉り各貴族の御家庭に於いて盛んに御賞用遊ばされつゝあります
全國到る所の化粧品賣藥小間物店に販賣せり若し品切れなれば直接注文あれ

東京　ミルド商會

責任證明
小久保醫學博士
臼杵醫學博士
合議創製
安齊醫學士
瀧原醫學士
吉田醫學士
神谷藥學士
望月藥學士

總てに於てレコードを破れる四月號を見よ

希望

□文學は果して青年を毒するや……馬場孤蝶　長谷川天溪
□出京を望んだ或娘の爲めに……岩野泡鳴
□相馬御風氏を送る……清水柳三郎
□オイケン博士の印象……生田葵
□古歌新釋（香川景樹の芳歌）……窪田空穗
□發賣禁止について……谷崎潤一郎

定價金貳拾錢　郵税一錢五厘
前金税共　半年壹圓貳拾錢　一年貳圓四拾錢
東京本郷一丁目九番　希望社　振替東京三七一三一

■掌中の珠（小説）……上司小劍
■二等室の思ひ出（小説）……水野仙子
■欝憂（小説）……久保田萬太郎
■月夜（小説）……長田秀雄
■毒婦情話　天人お駒（連載）……邦枝完二

懸賞　金壹百圓　小說募集
規定其他明細「希望」四月號に發表

讀者文叢
短篇小說　小山内薫
脚本　長田秀雄
散文。書翰　近松秋江
小品文　尾山篤二郎
俳句　大須賀乙字選
和歌　窪田空穗選
長詩　土岐哀果選
以上每號大懸賞

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

おしめホルダー

文明新案おしめホルダー（最新式おしめ止）を使用すれば一には大小便で衣服布團を汚す憂更に無く二には子供の足や腹を堅くしめくゝる等の害もなく三には之れを以て子供の腹腰の冷ゆるを防ぐ事を得べく殊に外出又は旅行の時なぞにも至極便利なものでおしめの問題で何一つ心配するの必要がない。若し濕り又は汚れたる時は洗濯自在で其上取りはづしも至極輕便であるから文明的家庭には是非無くてはならぬ實用品である。

定價
一歳未滿用　一個金四拾貳錢　送料八錢
一歳以上用　一個金四拾八錢　引替拾八錢
滿韓　送料三十五錢

全國到處有名藥店及醫療器店に在り

製造發賣元
東京本郷區弓町二ノ八
テーシー商會

創立　明治二十一年三月
資本金　壹百萬圓
諸積立金　壹千五百拾四萬九千餘圓
契約金高　壹億七百拾八萬貳千餘圓
（大正三年四月末調）

帝國生命保險株式會社

東京市日本橋區呉服町十六番地
電話（本局）九五、三三八、一六五七
振替貯金口座東京九二九

社長　福原有信
常務取締役　北里袈裟男

豐山大學長 權田雷斧僧正述

兩部曼荼羅通解

（挿圖十八葉）

菊判和裝
定價一圓五十錢
郵税八錢

兩部曼荼羅は密教の根本思想とその實踐の理想とを圖畫に託して顯示したるものにして密教の骨髓眞言の極致佛教美術の精華これを外にして求むべからざるなり然るに斯教由來口訣を重じ面授を尙び堅く神祕の關鑰を鎖して容易に門外の窺窬を許さず學者頗るこれを遺憾とす於此乎昨秋有志相謀り大阿闍梨權田僧正を請じて曼荼羅の講傳を受く弊社今切にその講錄の修正補訂を請ひ玆にこの千古の祕藏を開放するの光榮を得たり學界の慶事と言はずして何ぞや

帝國大學講師 荻原雲來先生著
梵漢對譯 佛教辭典
定價五圓
郵税十六錢

帝國大學講師 荻原雲來先生著
實習梵語學
定價一圓廿錢
郵税八錢

東京小石川區原町六 振替東京一五六八六 丙午出版社
東京小石川原町六 振替東京一二五三 鷄聲堂

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あぶらの出ぬ春の化粧法

遠藤波津子

今頃が一番脂の浮出る時です、御化粧してもあとから〳〵脂肪がニヂミ出して實際にどう仕樣かとお思でせう斯る時はこうしてお化粧をなさい

□お顏を純眞なる米糠で洗つたら當店特製のライラツク水を充分つけ脂肪分を取去つてお化粧をなさい、其でも駄目な方は

□マツサージ用のクリームを特製ライラツク水で溶いて常に脂肪の浮く部分を殊に念入れて按摩をするのです

こうしてサツパリした

□土臺が出來たらハイジエ、クリームを塗つて下さい夕トへ脂肪が出る時でもクリームの油とは質違ますから是は是非必要です、叮嚀に引いたらガーゼ手拭で餘分を拭き取り、今度は粉白粉をつけます

□粉化粧法これは春化粧には最も大切な要素でガーゼ手拭の一部に粉白粉をつけて萬遍なく粉化粧する事を忘れてはなりません

□ホ、紅を用ふる方はこゝでおつけ下さい、そうして理容のお顏用白粉を濃ければ特製ライラツク水で加減して成るべく板刷毛でお附け下さい、土臺が出來てゐますから思ふ樣に面白く綺麗につきます

□最後に鏡を見てムラがあれば粉白粉で直しライラツク水でお顏をタヽキ化粧を落付かせます

斯る順序で御化粧すればお花見でもお芝居でも化粧クヅレの心配なく御安心です

理容固形ヌカ	十五錢
	六十五錢
特製ライラツク水	七十錢
	五十錢
	三十錢
マツサージ用クリーム	一圓五十錢
	八十五錢
	五十錢
ハイジエクリーム	六十錢
	四十五錢
	四十錢
理容顏用白粉	五十錢
襟用白粉	卅五錢
ペルペオラ粉白粉	一圓二十錢
	六十五錢
ガーゼ手拭	十二錢

新橋竹川町十二　理容館　電新一五一九　振一四一〇〇

御婚禮夜會等御化粧著附け懇切に御世話申上候

祝三週年紀念號

三階　二階　階下

大陳列場

御婚禮道具一式調製

商品目錄送呈

第一向島工場

向島隅田村一三六九番

電話本所五百二十六番

清

東京市京橋區金六町角

鷲塚高等簞笥店

電話京橋　五百七十一番
　　　　　三千四百五十五番

振替東京　一九三七〇番

罪なくして夫に離緣されんとする場合婦人の執るべき態度に就て
(但し既に數人の子供ある場合)

かう云ふ場合ありと假定してゞはありません、實際今日こんな不幸に陷り、若しくば陷らんとする婦人が多いので、私共は茲に之れを論議せんとするのであります。

本社の質問に對し、諸先輩が其の尊重な時間をさきて御答へ下されたことを感謝致します。懸賞論文として集つたものゝ中には、餘り的のはづれたのが多かつたのでたゞ左に掲載の二文を選びました。

本號は右の問題で、紙面の大部分を費やし、其の爲め健康に關する記事中、次號へ廻はしたものが多くあります。次號からは又大に健康に關する記事を掲載します。

本社の根强き努力がダン〳〵認められて來たことを感謝して居ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子女は貰ひ受け、教育費、養育費を要求せよ

西川文子

結婚後、數年にして『乳呑兒を抱へて放蕩な夫に捨てられる』と云ふ樣な悲劇もありますが、ソレにも增して氣の毒なのは結婚後十數年も經ち、子供の三四人も出來てから、夫は他の婦人と結婚したさに、妻君を離緣しやうとする場合です。而かも此の慘事が近頃頻頻として起て居る、こんな忌ましい問題がもつと若い時代に起らないで、中年或は老境に入つてから起るのはどう云ふ理由かと云ふに、結婚後十年間位は男が放蕩しながらも小さい子供の愛やまだ妻君の若い新らしいのに引かされて家にも時々歸つて來るのですが、だん／＼それが薄らいで、子供も大きくなり家庭が複雜に面白くなくなるので、再び新らしい水入らずの新家庭を持つて見たくなり若い婦人と結婚したくなつたりするからです。

○

『十數年つれ添ひ、既に其の間に三四人の子女もある妻を離別しようと云ふのには、深い理由がなくてはなりませぬ。全く罪のない婦人が去られる理由がない』と云ふ人もありますが、全くあります。

品行方正な男子の中には、斯かることはあり得べからざることの樣に、思ふ者も少なくない樣ですが、放蕩な男子はソレを平氣で爲し得る程に、良心が痲痺して了ふものと見え、今や既に三四人も子女ある間でありながら、罪なくして夫に離別されんとする婦人が、少なからずあるのであります。

今少し高尚な理由での離緣問題ならば、又論じようもありますが、右の如き場合には、私は主として之れを經濟方面より論ずるの外はないと思ひます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○

結婚早々夫が放蕩する場合に、周圍の人々は今に子供が出來れば、子の可愛さで放蕩も止むだらう、今少し／＼と云つて婦人に辛抱を強ひるのですが、私は酒を呑んだり、幾人も／＼の婦人に關係したりする樣な放埒な癖のある男は決して容易に治るものでなく、年を取る程、反てソレが增長するばかりだと思ひます。どんな人でも若い時は理想や希望の爲めに奮鬪努力しますが、意志のよほど堅い強い立派な人でないと、年を取るに從つて理想がなくなり、現實的享樂を得やうとする樣になるものです。大した成功もせず、理想も希望もなくなつた男子が中年になつて無茶苦茶になるのは其の爲めです。で私はそんな場合には多く子供の出來ない中に、又は子供の一人でも少ない中に離緣した方がよいと勸めたいと思ひます。でないと婦人の一生は目茶苦茶にされて了ひます、一度しかないあたら人生を。まだ年が若ければ何とでも善後策はつくのに

○

三四人も子供のある場合にはなか／＼さう簡單に解決はつかない。夫に新らしく結婚させまいと復讐する爲めには離緣を承諾しないのがいゝかも知れないが、實際夫は他に家庭をなして歸らなければそれまでゝす又離緣をするとなれば日本の法律では子供は男子につくとになつて居るが、男子は直接子供を養育する事は出來ないから、いづれ繼母なり、下女なり、乳母なりの手によつて育てられねばなりません。子供の養育は慈母に優るものがない、慈母の手をまたなければならぬと云ふ事は、今更云ふまでもない事です。それに十數年來己のが手鹽にかけて、雨につけ、風につけいたはつて育てゝ來たものを、手離す事は母親として到底出來ない事です。實際子供の個性を知り生理的にも精神的にも其の癖を知り、病氣を知り、どうすればよいかと云ふ事を知つてゐるものは、生れ落ちるときから育てゝ來た母親に優るものはないのです。往々上流家庭から不良少年の出るのは、人任せに育てるからです、どんなに困りながらでも母親の手で育てるのに優るも

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のはないのです。でどうしても離縁しなければならぬ場合には、信頼すべき人を證人として、身分相應の養育料、教育費と云つた樣なものを付けて、改めて夫から子供を貰ひうけるのがよいと思ひます。それも月々とか年々とか云ふのでは、約束したからとて履行しなければ仕方なく、去るものは日々に疎と云ふ諺の如くいつとはなく、仕送りも止まつて母親の負擔になつてゐる樣な例は世間に多くある事です、男子は自己の我儘勝手から離縁しやうとするのだから、借金してゞも一時拂にするがよろしい。

多くの人は『婦人はかねて獨立し得る能力を養つておく事だ』と云はれるが、充分素養あり教員免狀などを持つてゐる婦人でも、家庭の人となる時辭職して、モー十數年も經てば口も切れ、經驗も古くなつて實際役にたゝぬのです。どんな婦人でも十年も一意專心職業にかゝつてゐれば、何でも出來ない事はないが、家庭に入り單に子女の教育にのみ携はり社會と沒交渉になつては急に何をしやうとしても引かゝりもなく困難です。そんな事にならなくてもいつ何時夫に死別せぬとも限らぬから、婦人としては平素から勉強し社會と沒交渉にならぬ樣に心懸けておかねばなりません。併し今日の所、斯かる婦人は極めて少ないから、離別の際には、夫たる人は十年間も子女の教養や家庭の業務にたづさはつて、世間と沒交渉になつて居ることに同情し、單に其の賠償としても、身分相當な事はしなければなりません。

○

右は經濟問題について論じたのであるが、かゝる場合世間は經濟上からは婦人に同情しますが精神的には誠に酷である。併し經濟問題と云ふよりは精神的方面の方がより重大であると私は思ふ。場合によつては婦人も再婚するがよいと議論では許しても、感情ではそれを惡くおもふのです。男子のそんな放蕩をさまで惡く云はぬ社會も、かゝる場合婦人に不品行な事でもあらうものなら口を極めて攻擊するでしやう。それを利用して惡い人をして婦人を誘はしめ、離縁の口實にす

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ると云ふ樣な事は昔からよくあつた事であるが、今も慣用手段にせられてゐるのです、實に婦人の立場には同情してもあまりあります。離縁をすれば再婚してもよいと云つたからとて、子供の敎育上そんな事は婦人自らも許さないし、又三人も四人も子供のある婦人と結婚しやうと云ふ樣な物好きな人も一寸ありますまいその點から云つて中年婦人の孤獨になつた場合と、男子とは大した相違です。妻子を捨てゝまで新家庭が持ちたいと云ふ要求のある男子が同じ人間である婦人をそんな破目に陷れても思ひやり同情のないのには、あきれざるを得ません。道德上許すに許されない行爲です。さうした男子を相手にする婦人こそ實に婦人の敵です。私共は共に大にそんな婦人を排斥しなければなりません。それに妻君たる婦人が自ら惡事でもしたかの樣に包みかくして獨り泣いて居るのも弱いと思ひます。場合によつては知人先輩社會團體に訴へて、罪なき妻を離縁する男子や、ソンナ男子と新に結婚せんとする婦人は相手にしない迄に社會制裁が進んで來なければならぬのですが、事實は反對で昔はそんな行爲があると攻擊せられて、世に立てなくなつたものが今では一向に差支へない有樣です。實に慨はしいではありませんか。

○

商家や農家で、家庭の仕事を夫より妻君の方が多く扱つてゐる家では、そんな場合男子一人出て行つて妻君の手一つで立派に家業を經營して子女を養つて行く一寸恒產ある家で夫に死なれた樣な形の處が間々あります。コンナ場合には夫が出て行ても少しも困らぬが一番困るのは月給取りとか、夫の收入ばかりで暮して行く家庭にコンナ問題の起つた場合です。でいくら夫に立派な職業あり生活に困らぬからとて、婦人も常に何かの職業と實權とを握つて居らねばなりませぬ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

最早や夫の名譽などは

黒百合

此の問題には少なからず困まらされました。それはもはや數人の子女があるとの事ですから、それならばどうしても數年の間夫妻として過ごした間柄と思ひますが、さてそれまでに必ず夫の性行はよく解つて居る事と思ひます、さぞ苦勞をした事と思ひます。それでも數人の子女が出來るまで兎に角夫婦として過ごして來た者が今更妻に何の落度もなくして急に離縁さる可き理由がないと思ひます、普通の人情を有する男子であるならばとても出來ないと思ひます。若し氣が狂つたのでなければあんまりの仕打ちと思ひます。

扨てそれにしてもそんな場合に取る可き態度に付て自分は若し夫なる人が普通の人情をはづれて慘酷な人であるならば、自分の最愛の子女をそんな人の手に委ねる事は出來ません。若し自分に何か腕におぼえがあるのなら何なりとそれに依つて生活してその子女を育てたいと思ひます、また不幸にして取る可き職業もなき場合實に口惜しく云ひ甲斐ない樣ですけれど親切な人にたよつて一時子供の世話を頼み、自分は奉公なり何なり身に應じた事をして一生懸命に奮闘します。

實自分に罪がなく、また其夫が惡人であるのなら世には涙のある人もあるものです、天もあります、決していつまでも苦境に捨て置くものではないと思ひますかく云ひますと人の同情に依頼する意氣地のない女とお思ひなさるでせうが、どうぞ私の心を汲んで下さい、決して自分が苦痛を逃がれる爲め依頼するのではないのです、自分は勿論身を粉にして働くのです、無情の父の許に最愛の子女を殘して其惡感化を受けしむる事は忍びないと思ひます。民法の事は存じませんが

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

妻は離縁の場合に其子女を自分の方に貰ふ事が出來ないのでせうか、また子女が相當の年齢に達する迄、夫より子女教育費を貰ふ事は出來ないのでせうか。

また夫がどうしても子女を妻に渡さぬと云ふ場合、法律は罪のない妻の爲めに保護を與へてないのでせうか、その事を存じませんけれど、自分としては是非とも自分の手に子女を得たいと思ひますそして子女の將來の爲めに。

たとひ夫が氣狂であつてもすでに數人の子女があるのですから其間どれ程夫に對して苦勞した事であらうと思ひますが、それを今まで忍んだのですから、夫から離縁せぬ以上は出來る丈け子女の爲め犧牲となりますけれど、すでに離縁と定りました上は右述べました樣にする覺悟です。

普通の人情のある人でどうしてそんな無情な事が出來ませう。全く病的としか思へません。唯一の保護者たる父がすでに頼まれぬ人である以上、母はどうしても子女の爲め必死の保護を與へねばならぬと思ひますその場合もはや父親の名譽などと云つては居られません、法廷をわづらはせても盡くさねばなりません、決して離縁せらるゝ口惜しさの復讐ではないのです、自分ばかりならばすでに愛情の消えた夫とわざ／＼法廷にかほ赤め合ふ必要はないのです只々あはれな子女の爲めにです。

しかし一言つけ加へたいと思ひますのは、罪なくしてとの事ですがそれはどれ位の程度でせうか、夫の目よりは必ず缺點があつたにちがひないと思ひます、とにかく十數年間の同棲後になつて離縁沙汰、それまでは何事もなかつたのでせうか、急に夫が變心したのでせうか」かく申したとて黒百合は婦人の友ですの、婦人の爲めに涙を以て祈つて居る者ですの、眞の幸福者を多くしたさにかくは。

さうした心持に生きよ

但村はつ子

世路人生幾多の紛々はもとより、特に夫婦生活の斯うしたごた／＼はすべて愛の缺乏より間隙を生じての

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ことと存ぜられます。かうした事情のすべては相對的のものであり、隨つて罪は二人にあるので御座いましよう。

要するに一方が大い愛を以つて、大乘的の愛の力を以つて他の一方を包んでゐましたならば、どうして左樣な問題がもち上りえましよう。小い愛の爲に、自己の小い「我」のために、不徹底なエゴイズムのために、恰も障子のうちの虻が頭をぶつゝけながら百年たつてもその紙一重を突破する事の出來ないように、愛の上では、かけつかけられつ、どんぐりのせくらべをして、常に不平と愚痴をならべながら、終に大なる愛を以つてすべてを抱有する事の出來ないといふのが、世間普通の同棲生活の狀態では御座いますまいか？

これ〳〵の保護をうけるから、これ〳〵の義務を感じ、報酬的に愛を賣買し、たとへば約束づくの妾の如く、又は一生飼ひ殺しの下女の如く、賣買的かけ引、報酬的愛を以つての同棲生活にこそ、さやうな出來事はありがちなので御座いましよう。

ほんとうに自己を知り、我に生きたる婦人ならば、そんな問題の渦中に身をおくといふ事はありえないと思ひます。古い言葉の一心同體といふ事は私にはどうもわかりかねますが、すでに婦人が或一男子と夫婦である以上、お互の愛の問題に間隙を生じる事は此上もない恥で御座いましよう。多くの夫妻は世間の義理と外聞の爲に二人の間のすきを見られまいとして押し隱しましよう。又一方では其穿たれたる溝をうめる事に努力いたしましよう。又左樣なすきを生じないようにと常に努力する人々も御座いましよう。けれども中には氣早に一寸したすきをきつかけに事を大くして我から穿てる溝に落ち込む事も御座いましよう。それは世間にはいろ〳〵亂暴な男も、淺薄な女も御座いますしまた事情と云ふものはいつも隨分盤根錯節するもので御座いますから理性を盲目にする烈しい情の力のために雜多の悲劇の持ち上る事は萬人のよく見受けるところで御座います。されば暫く問題を問題として考へて見まするに、既に數人の子は間違ひもなく二人の愛の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

片身で御座いますから、如何なる困難を忍ぶとも二人はなれずにゐる事が、第一であらうと思はれます、既に過去數年の愛の確證が生活に現はれてゐる以上、あかの他人となる事が出來ましようか？　然しそれでも突きはなさるゝ場合がありうるならば、仕方御座いません。當然の手段をとつて爾後の生活は第二の自己の爲に、其分身のために一層努力奮起、大決心を以つて眞實なる道に進むべく一切過去を忘れ、正しく強くあらねばなりません。さうした心持に生る事は、生ぬるかつた不徹底な夫婦生活にあるよりも如何に幸福で御座いましようと思はれるものなので御座いますが、其考が度々多くの夫婦生活に災するのでも御座います。

女一匹、決心さへかたくば、無藝でも何かの役には立ちましよう。立働き、すゝぎ洗濯してゞも一人や、二人の子を育てゝゆく人も御座います。まして、身に多少の才能と技術のある人ならば何をしてもゆかれない事は御座いますまい。

唯々、わかれては立ちゆかれないと、其糧のためにぐづ〳〵に同棲してゐるような婦人があるならば、それは我々女全體の恥で御座いましよう。

大津街道追分道の馬のさき曳きをしようとも、煤煙にまみれて貨物列車の石炭運びをしようとも、それが意義ある生活であるならば何のいとはしい事が御座いましよう。六十年の不作とかこたれ、くされ縮緬ぎもので仕方がない、飼つておけ！　といふ心もちでおかれるなら、金殿玉樓も何の樂、形影相憐むよりほか、旦暮の情を何といたしましよう。

要はいづれの道を行くとも、愛せられ、敬せられて行けるだけの覺悟を持つことで御座います。

私共は家庭に於て、社會に於て、常に無用の長物たらざらん事を願ふので御座います。強く正くあるならば、多くの盲目なる人々に誤られようとも、嘲罵されようとも、又一時の現象が、その愛せられ、敬せらるゝといふ所に戻ると見えても力を落すにはあたりません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子供は婦人の手より離すな

新渡戸稻造

豫防法としては高等の敎育を出來る丈け與へておくがいゝ。自分のうちでも親族などにはそれを望まぬものがあつて、早く嫁にやれ〳〵と云ふけれど、自分は出來る丈け高等の敎育をしておきたいと思つてゐる。尤も離緣されてから職業敎育を受けたり、新らたに學校に入つて免許狀を貰つたりする人もあるけれども、それは泥棒を見て繩をなふ樣なものである。

○

又さう云ふ場合には、子供は婦人の手から離さないで扶持料を請求してはどうかと思ふ。夫の方で養ふより安い位の程度でも我慢する事にして、婦人としては獨立の職業をさがすより仕方がないし、又子供は奉公に出すと云ふわけにも行くまいが、職業を學ぶ道に就かせるがよいと思ふ。

○

婦人が承諾しなければ法律上離緣する事が出來ないからとて、拒んで見ても、成程食べるには困らないかも知れないが、虐待されてゐては、犬猫同樣で動物の樣なものだらう。それよりは離れた方がよい。夫婦關係は雇人と被雇人の樣な關係と違ひ、人情的のものだから、法律一方でも解決する事は出來ない。

○

職業に就ても亦職業をさがすのに惡い人にかゝると大變である。例へばこれまでの桂庵と云ふ樣なのは當にならぬから、女子靑年會でも職業の事を世話しやうと云つてゐるが、金を募ると云ふ事は、これ程の家ならば三圓五圓は何でもなからうと思つても、なかなか出す方になると、あの人にもこの人にもとなるので

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

容易でない、それで立派な奥さん達が集まつても金を要求する事はむづかしいかも知れないが、上流の婦人達は交際が廣いのだから月に一度か二度、處を定めておいて集まつて、かう云ふ求職者がある、これはかう云ふ人で彼れはかく〳〵の人であると説明する人もあつて、貴女の方にお入用ならば結搆だが御入用無ければ、お知り合の家にさう云ふ人の入用の處はありますまいかと云ふ風に、では私の家にモー一人位おいてもよいとか云ふ様に、世話をする會をして貰ひたいと思ふ。大きい家なら大きい丈けに用事も相當に多くある事だから、大して奔走して呉れとは望まないが、そんな事で上の人と、下の人との連絡が取りたいと思ふ。奥さん達にしてもよい事をすれば心持ちがよいから道樂としてもよい道樂である。

○

下の方の人は女中でもすればさう云ふ場合にも何とでも法はつくが、一番苦しい目にあふのは中流の人である。

生活費と子供の教育費を要求せよ

佐治實然

一旦夫婦となつた以上、夫が病氣にならうが失敗しようが、女から夫をすてゝ逃げ出すこともなく、又女が病身で殆んど女の役もつとまらぬ程であつても、夫たる者は之れを離縁する考へなく、所謂偕老同穴で、どこまでも辛抱仕合はねばならぬ。

時の古今、地の東西を問はず、之れが男女相互の間の動かすべからざる德義である。之れを根本として考へて行くと、二三人も子がある間でありながら、何んの罪もないのに、他の女でも出來て、妻を離縁しようとする場合には、妻の方から十分の要求をしてよから

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

うと思ふ。之れは法律と云ふ様な四角四面な頭でなく常識で考へて云ふのである。

子供をつれて歸りたければ、其の中一人位はつれて歸りたいと要求し、其の子と自分の生活費及び其の子が男の子ならば一人前になるまでの敎育費、女の子ならば嫁に行くまでの敎育費を要求すべきであると思ふ。ソレは一時金として貰つても、或は月々貰ふことにしてもよろしい。若し又夫にソレ丈けの力なしとするも罪がないのに離縁さるゝのであるから夫の出來る丈けのことはさすべきである。

其の代り、女の方が、意氣地がないとて夫に愛想をつかし、自分から御免を被むる様な場合には、着の身着のまゝで出してよい。女は何者をも夫に要求する權利なしと考へる。

尤も、罪なくて去らるゝ女が金錢上の要求をするに及ばぬ場合もある。女の實家に財産があつて、兄弟が少なく、其の上、父母や兄が同情して呉れて、歸るのを歡迎して呉れる様な場合には、金錢の要求などしなくてもよいが、コンナ場合は千に三つもあるべきでない。大抵な場合には金錢の要求を必要として居る。ソレをせぬのは愚の至りである。

とは云へ、中人を立てゝ前述の如く約束し、若しくば念入りに裁判所の手まで煩はしても夫が約束を履行せぬ場合には致方がない。ソレであるから、愼しむべきは結婚の當初である。將來に面倒が起れば、よい加減の所でアキラメて了ふの外はない。

子供の利益が本位

山田わか

私は子供の利益を本位に處決する。さうする事が子供の幸福、自分の幸福、又社會に對する義務である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子を持つて居ながら子供を外に自分の幸福をはかる女は人間の本當の幸福を知らない女である。生みの子がありながら孤獨の淋しみなどと云うて居る女はさう云ふ淋しみを手製して、新しがつて氣取つて居る人である。若し氣取つて居ないのなら、其人は小さい〳〵人である。自分の生んだ子供をも自分の中へ入れる事の出來ない間違つた人生觀をもつて居る人である。

自分の分身、第二の自分なる子供は人の手にあつても、たとひ死んで居てもやつぱり自分の子である。子は自分の肉である、血である。子の魂と自分の魂とは一つである。子の苦しみは自分の苦しみ、子の樂しみは自分の樂しみである。自分と云ふ一つの個體以外に自分と云ふものが存在する以上は孤獨の淋しみなどはありよう筈がない。子の爲めに所謂自分と云ふものを忘れる事の出來る人は幸福である。

自然の法則を知つて居て、病的に自己を主張するような事はしない。自分の子供の中に幸福を見出す事の出來ない人は、自分の家にある聖盃を尋ねて世界中を彷徨ふて居て落ち付く時をもつ事の出來ない人である。

子供の行く末を案じると云ふ事は偉大な力を女に與へる。タヂ〳〵と覺束ない足取りで歩む子を保護しながら私は思うた。今は斯うして自分の力で此子を安全にして居るが、自分が老衰して此子が社會に出る時分に、此子が弱者で社會から押しつぶされて居たらどうしよう。それは斯うしては居られない。此子を虐たげられないような強者にするにはどうする。自分が盲目で居て、どうして人を導く事が出來る。自分は此子を不幸に陷れない爲に、目をあいて居なければならない。自分は勉強しなければならない。私は子供をこんな風に思うて居る。だから、夫と同居して居る事が子供に利益であるならばあく迄も離緣話に抵抗する。けれども罪のない子迄ある妻を離緣しようとする場合には大抵男は他に女をこしらへて居る。そして女を家庭へ引き入れたり甚だしくなるとそんな女に主婦の權利迄もゆづらうとするような事がずゐぶんある。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男の心が脱線してしまつて居る時妻がいくら正義を稱へても人情に訴へてもどうする事も出來はしない。斯う云ふ場合に、若し社會が母の仕事の重要な事を認めて居るならば不義な男女を充分制裁して母子の安全をはかるべきだが、悲しい事には、母の仕事の神聖な事、國家の生命である事を見るだけの頭のない男許りが造り上げた國家は、男の亂行、母子の危機を見て見ぬ振り、知らぬ顏をして居る。

國家が知らん顏をして居るなら仕方がないと云つて私達は屈服して居てい〻であらうか？　こ〻に、現代に生れ合せた私達婦人の仕事がある。

が、それは先づ後日に廻して差し當りの問題に歸らなければならない。不義者に妨げられて、母として、主婦としての自分の力を家庭にみなぎらす事の出來なくなつた場合、子供の爲にならぬと見た時には私は勿論離緣して餓死する迄も子供を腐敗した家庭から連れ出す。そして、やきいも屋でも始めて生きて行く。腐敗した家庭に居て最高な學問を授けられるよりも、學校の門はくゞらずとも眞實のある母親の手許でちみちな生活を味うた方がどれだけ立派な人間が出來るか知れない。たとひ一人でも惡習慣に染まらない人間を造る事が私達の義務である。又喜びである。

あゝ、肉の奴隷になるやうな男は、妻から斷然離緣の宣告を云ひ渡すような社會にしたい。

自由戀愛の名のもとに神聖な家庭を腐蝕に來るような下司な女共を排斥しなければならない。もうさう云ふ下司な女が我々婦人の先頭に立つて居たなら我々は彼女を擊退しなければならない。彼女は我々婦人の歩む道をけがすものである。

●**健康顧問演說會**　豫定の如く三月廿六日神田和强樂堂にて開會、來會者三百餘名、斯かる問題で斯く多數の聽衆を集めたのは、丹平商會がチラシ三萬枚を寄附され準備が行屆いた爲めにもよる。又大阪の高宮商店出張所より玄米カロリーの寄贈があつたので、來會者一同へ進呈しました。詳細は次號で

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

獨立の下地

中尾清太郎

數人の子供まである仲を、罪なくして離縁されむとする時、どうしたらいいかと云ふお尋ね、他へもお發しの御様子、簡單にお答します。

『罪なくして』と云ふも、片方ばかりで思つてゐるのは合點違ひと思ひます。また『罪』と云ふも法律上のか道德上のか、どんな種類性質程度のものか、又どんな場合のものか、さう云ふことからしても詳しく聽いてかゝらねば正しい判斷はつきません。それから『離縁されむとする時』と云ふも、お尋ねの様子ではどうやら『離縁された時』の事らしい。さうとすれば私の考へ方も違つて來る。それで今は實際に當れば、もつともつと複雜でもあるべき問題を極々大雜駁に片附てみます

先づ離縁されたら、愛情も冷めきつた赤の他人とおんなじだから、――そしてはい〳〵と引き退るのも器量が無さすぎるから、損害賠償でも扶養料でも、名目は何でもいいから、成るたけ男を苦める程にたんと取つてやつて、獨立の下地に使ふのですね。子供も取るとも遣るとも自分の考にするがいい。要するに獨立の計を立てるより外にあるまい。其先も再び結婚するとも、どうするとも自分の考のまゝにするがいい。

一體こんな問題は、平生から考へ、用意して置くべき筈のものである。其場になつて、他の考を借らうなどとは、あんまり淺間しい。――

これは無理な結婚をして、不安な境遇に在る人の爲めに言ふことで、私の理想ぢやない。

私の理想は、結婚と云ふものは必ずエンゲージを條件とする。エンゲージをして互に理解し、互に愛し合つて、正當に結婚すれば、なんの紛糾葛藤の起らう隙

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

もない。總ての問題は、エンゲージの間に解決すべきである。結婚後は問題なし。

非結婚同盟

岩野清

結婚は雇主と被雇者と云ふ關係ではありません。愛の世界に於ける男女は對等なものです。從て其の契約(結婚形式)を解除するのも勿論相手方の自由意思の同意を待つことが正當だと思ひます。もし夫が壓迫的に離婚すると云ふならばあくまでも不同意を表明してさう云ふ不法者をこらしめるがよいと思ひます。それが多少自分にとつて不幸であつても、女性全體のためにそんな不法な男の我意を通させないやうにするのが日本の現在では急務です。自由結婚即男女相互の自由意思の結婚が最も正しい結婚法であると同樣に、自由離婚も相方の合意を必要としなければならない。一方の我意で結婚を破壞するのは自由離婚でなく壓制離婚です。私は前に申した意味の自由離婚は肯定しますが壓制離婚は女性の人權を無視した野蠻の風習だと存じますから、そんな不法を許容しない方がよいと思ひます。

もし夫がそのため妻を虐待したら、相當の制裁を加へてもよいでせう。又自發的に離婚の要求をし相當に賠償をさせるのもよいでせう。子供の所置は其人の望みによつてとるなりと男の家に殘すなりとしたらよいと思ひます。さうしてさう云ふ不法な男は非結婚同盟をすると云ふ位にしたいと思ひます。對他的の關係に於てまで絕對の自由があると思つてゐる馬鹿者どもをこらしめ目ざめさせなければなりません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

因縁因果

中里介山

私は今も獨身者であり、生涯獨身を通す覺悟を確立しましたから、この問題は、私自身にとつては直接に交渉は起らない筈ですけれども、私をして斯様な覺悟を確立させた一半は同じやうな問題の影響で、幼少の折少なからぬ悲痛な經驗に置かれたせいであると存じますし、また世間の實際に、この邊から來る悲劇が無數であることをも考へて居りますが、併し、私にとつては今や一切の問題が因縁因果の現象でありまして、絶對から見れば更に是々非々の區別を立てる餘地がありませんので、斯く主張せねばならぬ、それは無自覺であるといふやうな考は少しもないのでございます、故に因縁因果といふことを、よく／＼悟了すれば、いかなる場合にあつても水の流れるやうに其の態度が自由になつて行き、よし夫に虐待されたとて、痩我慢でなしに、それを受け流して、居るも止まるも其の時／＼に都合よく行くものと存じます、さうはいふものゝ、現在の婦人の地位を改革し、その苦痛を救はうとする精神及び計畫に對しては、決してそれを無用視するところではなく、その努力こそ重要なる善因善果の縁でございますから、さやうな講究を益々盛んにして、その善き方に相當の應援を致したいとは心がけて居るのでございます。

書きごゝろ と云ふ商標の筆と墨とは、武居江南堂の製品で、本社でも多年使用して居ますが、凡ての書方に適し、他品の及ばぬ長所を持て居ます、同店は今般、神田鍋町へ移轉し、一層業務を擴張して、小賣部も新設されました。同店では本誌の讀者には特に割引されます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私は斯う思ふ

沖野岩三郎

一、亭主中心主義の迷信

斯る問題の前に私には家庭中心主義を排斥せよと云ふ先決問題があるのです。亭主を家庭の中心とするから諸種の悲劇が起るのです、私は家庭の總てを同資格のものと観て居ます。だから子供に梅干を甞めさして自分は刺肉で晩酌と云ふ暴君制を排します。僅かな月給でありながら亭主は酒も飲み煙草も吸ひ綺麗な禮服を着て居るが、妻君には紋付一枚無いと云ふ様に萬事亭主を中心として居るから、其亭主に死なれるとか、放蕩せられるとか、離縁すると無茶を言ひ出されるとかした場合に一家は忽ち暗黒になるのです。私は常に家内に言つて居る。自分は今晩死ぬか、明日監獄に行くかも知れない、或は今日限り收入が途絶えるかも知れない。其時自分には自分丈の處置しか執らないから家内は家内で各自に自分の處置を執らねばならぬ。子供は丁稚に行くなり愛して呉れる人に養つて貰ふなり妻は下女奉行に行くなり、さつさと當座の所置をせねばならない。平生から亭主を家庭の中心だと迷信して居たなら不意の打撃を受けた時周章狼狽せねばならぬ家内五人を五本の柱だと思つて居れば、一本の柱が折れた時の處置は忽ちにして案が付くではないか。妻と云ふ柱が折れたら別に新しい柱を入れゝばよく、亭主と云ふ柱が折れたら又別に新しい柱を入れるか、或は殘りの柱を悉く分解して丁度亭主柱の一本缺けた所へ持つて行つて合同するなり何とでも出來る。子供と云ふ柱でもさうである。斯く考へて居れば、離縁問題が亭主から持ち出された時は、亭主の數奇心から松の柱

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を檜の柱に易へたいと言ふのであると思へば宜い。大抵の場合斯る時にはもう何所かで香新しい檜の柱を見付けて直ぐにでも取替へられる樣にしてあるのだから、松の柱は潔く取替られても宜いではないか。小い子供の柱はどうしませう何て考ふるに及ばぬ。自分が伴れて行き得れば貰つて行く、亭主がやらぬと云へば亭主に預けて置く迄である。

二、離緣問題と男子の心理

男子が妻に對して離緣問題を提出すると云ふ事は、男子の名譽を犧牲にした事で、夫れを深く考へねばならない。殊に子供迄ある中で離別せうと云ふのなら、夫迄に亭主の心中で、どれだけ煩悶したか苦しんだか判らない。既に一人の妻を離緣したと云ふ事は、一本の柱を取除くと云ふ事で、夫が爲に一家は破滅するかも知れない危險を冐すので、其男の終生を荷つて行かねばならない黒點を覺悟した上の問題である。恐らく世界の男子中結婚後死に至る迄自己の妻以外に愛し得る女を想像しない者は一人も無いだらう。唯夫れが實行となると名譽だとか財產だとか生活だとか困難な問題が起つて來るから其の謀叛心が直ちに頭を引込める迄であらう。勿論女もさうであらう。一樹の陰で一寸話し合うた知らぬ旅人でも、いざ西と東とに分れる時は心引かるゝものである。況んや子まで產した間柄を分れねばと言ひ出すのは、其男兒には實に餘儀ない事情があるので、人の知らない苦痛を味つた結果であると思はねばならない。離別せられんとする婦人が此所に思ひ到つたなら、強ち男子を惡く言つたものでもない。

三、離別問題を與へられた婦人の立場

離緣と云ふ樣な事は男が女に對して愛情の冷え切つたドン底の聲であるから、女は此聲を聞いた時、何よりも早く『諾』と答へねばならない。そしてさつさと出て行く決心が平生から付いて居なければならない。何ぼ仲裁したつて、思ひ直したつて、一旦離別を言ひ出

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

す程の男、夫れと伴れ添ふは實に不幸の極である。女自身にとりても、さつさと出て行つて他に適當な配合を求めるか或は一生獨立してやり通すか何れにか決心するがよい。子供があるつて、夫れはどうでもよい。自分が出て行つて、後妻の他人に育てられると根性が僻むと思ふのは誤解だ。愛性の冷えた亭主と疑と怨と冷酷との間に育てられる子供は繼母に育てられる以上の不幸である。物見遊山に行つて居ながら、自分を山上の絶壁から突落さうと企てた男と一生を連れ添ふ事が出來るものか。こんな場合に一言半句の爭ひもなくさつさと出て行く決心が妻君にある程なら、亭主は滅多に離縁問題何か出すものでない。

最初を愼しむべし

齋藤紀一

後年離縁とか別居とか云ふ問題の起るのは、抑も結婚の根柢が誤つて居るからである。

西洋に比較的にそんな問題の尠ないのは結婚の根本が日本とはちがふからである、あちらでは日本のやうに親や他人が世話をするのでなく、本人同志が定めるのである、男女交際が自由であるから、年長者の監督のもとに若い男女が交際してゐる中に、尤もよかり相な人と約婚する、そして知人友人にそれを知らせ、それから半年乃至一ケ年は交際するのであるが、約婚してからは男の方から一週に一度は乾度花を持つて女の方へ見舞に行き、一しよに散歩をしたり食事をしたりするのである。長い間交際していよ〱双方で申分がないとなると兩親の許可を得て友人知己にも知らせ結婚式を擧げるのである。結婚式はお寺でするので、親戚友人を多く招待して、神の前で式を擧げるのであるが、中々嚴格なもので、仲人と三人の宣敎師があつて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

神前で、立派な大帳に向はせ、先づ女に向つて『貴女は何々氏と結婚して、終生變らないことを神に誓ふか』と聞き、次に男に同樣のことを問ひ、神に誓はしめて帳面に書きつけるのであるが、これが日本の入籍するより重大な事であつて、西洋では決して日本の如く籍を入れずに結婚したりなどする事はない。それからレストランへ行つて披露をするのであるが、先つ花嫁花婿が先きに着いてゐて來客に一々挨拶をし、御馳走が出てから、結婚踊りと云つて祝の踊がある。花婿花嫁が踊り客も皆夫婦連れでズット踊つて行くのであるあちらにも滑稽な迷信があつて、花嫁の被ぶつてゐるシャーをどれ丈でも破りとつて了ふ。それを取ると夫婦仲がよいとか、まだ未婚者なら早く結婚が出來るとか云ふのである。又女同志が手をつないでトンネルをこしらへてゐる中を男が通る時花婿の脊をピシャ〱とひどく打つ、これにも同樣の滑稽な迷信があるのである。其の間に花嫁は七度とか少なくても五度三度と服裝を取かへるのであるが、仲々立派なものである。

その通りあちらの結婚は

第一神に誓ふのであるから、よく交際してからでないと容易に結婚しない。

第二約婚中に何方でも一生友として愛する事が出來ぬと思ふと容易に止めて了ふ。

第三夫婦の愛情が非常に親密である。日本では忠孝を第一にするが、あちらでは夫婦の愛情を第一にする。

第四結婚すると生活狀態が一變する。夫婦が一軒になつて、姑小姑などがどれ丈けあつても全く別になつて、決して干渉する樣な事はない。

それらの原因から、あちらでは後年になつてからの離緣沙汰は尠ないのである。

（附記） 先生に伺つて筆記した、ノートを飾りに落して了ひましたので、記憶をたどつてかきつけましたから、間違つてはゐないつもりですが、ぬけてゐるかも知れませんから、茲にお詫びしておきます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

聖人の教

奈良林　淺次郎

若い時でなく却つて四十前後になつて、多く離縁をしやうと云ふ樣な問題の起るのは、何せかと云ふに、其の時代は男ならば四十二、女ならば三十三で、俗に厄年と云ふ頃であるから、精神上から云つても仕事にも妻君にもあいて來る時代である。そこで一寸遊んで見ると云ふ樣な事にもなる。それを又女が嫉妬するとだん／＼面白くなくなつて、遂にはそんな事になるのであるが、これ皆お互に克己の精神が足らぬから起るのである。夫婦の健康の差異など仕方のない樣な事もあるが、それとても男も克己して己れの慾に勝ち、又例令夫が一寸位遊んだからとて、妻は同情して優しくしてゐれば、男だからとてそんな無茶苦茶なものはないから、遂にはもとにをさまるのであるが、そこに氣がつかず女ががみ／＼云ふと、夫は益々妻から遠ざからうとするのである。要するにお互に修養が肝要である孔子は四十にして不惑と云はれたが、此時代にはまよひ易いからである。つまり聖人の敎へを守つてゐれば間違はないのである。

法律に訴へて

安部　磯雄

斯樣なる場合には法律に訴へて扶助料を請求するのが適當であらうと存じます婦人としては隨分やりにくいこととは思ひますが婦人全體を代表して男子を反省せしむることは必要ではないかと考へます。

精神上の自由

岡田　哲藏

妻なる人の人格如何と、夫なる人の妻を離縁せんとする動機如何を考に加ふることなしに具體的の答はなしがたいと思ひますが、主義としては、最高き意義に於ての個人の自由、特にその精神上の自由は夫妻關係、否なそれのみならず親子關係より生ずる義務道德よりは重要なものと信じて居ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三四年は

青柳有美

既に良人より離縁せらるゝまでに夫婦の感情が離反するに至つてから女が強ひて離縁を拒絶しても夫婦として人生を愉快に暮らし得られるもので無い。離縁せられたら其儘之を承諾して良人の家を去る、女の扶養は之を良人の負擔に歸せしむべきである。伴れて別れると置いて別れるとは良人の意志次第にすべきである但し復家を勸めらるゝやも知れざるを以て三四年は再縁を差控ふべきである。

女の柔かい力によりて

吉田絃二郎

一概に決めて了ふこともできないでせうが、もし夫婦間の性格差から本然的に生れて來る眞の意味の悲劇的な場合でありますならば、これは誠に兩者に對して同情すべきことであつて、また兩者が快く別れるか、または何とか理解の上に一致點を見出すやうに一層の努力をつくして見るか、その何れにしても行けるところまで兩方で他人の力を借らずに最善の道を選むべきだと存じます。女に何の罪もないにもしその夫が妻を捨てるといふことがこのやうな本然的な悲劇の外にあつたとしてもできるだけは女の柔かい力によりて男の強い力を和げることに努力した方が宜くはありませんかとも存じます。兩者が力と力と正義と正義とを鬪はせることになれば、男といふものは却つて女から遠ざからんとするものではあるまいかと存じます。よし女が勝つたにしてもその勝利はやがて敗亡にもまさつた空虛を感じさせるものではありますまいか。愛で結ばれた夫婦の分裂はまた愛で繕ふのが肝要かと存じます

純粹愛情で取扱ひたい

鈴木龍司

子供の數人もある場合で罪なくして離縁されるといふやうなことは、極めてあり得ない事で、もしそれが起り得るとせば、所謂男子の横暴といふことになるのでせうが、この場合婦人として考ふべき事を私は權利とか義務とかいふ方面からは考へたくないのです。夫

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦間のことは純粋愛情で取扱ひたいと思ひます。さうして所謂男子の横暴によつて起る所以には、何等かの愛の缺陷があるのだと觀察します。私は理想論に走る事を充分に自覺しても、この場合婦人の取るべき態度は、自らもこの愛情に立歸へる、或は夫をして立歸らしむるやうに極力努力する外はないと思ひます。私はこれをたゞ婦人にのみ要求するのではない、男子の場合も同じだと思ひます。

狂せず亂せざるの修養

時事新報記者　大澤とよ

拜復御尋ねの件の如きは平素豫め考へ置き得べきものにやおろかなる私にはそれすらも判じ難く候。。。。罪なくしてと申す罪有り罪無しといふ彼我の見解は議論の岐るゝ處にて候はん。

若し又全く罪なくして云々の事實ありとせば惡魔との戰ひに候。

惡魔と戰ふその策戰計畫は宜しく機に臨み變に應じて案出するより外なかるべきか。

要は只去る場合に處する婦人が狂せず亂せざるの修養あらば幸ひと存じ候。

而かも罪なくしてといふことは私共大疑問に候、從つて此御返事は致しがたく諸姉の御賢說を拜して訓へを待つのみに候。

先は御返事出來がたき申譯のみに候かしこ。

手近い手本

東京日日新聞記者　神近市子

（御葉書に署名がなかつたのですが大方そちら樣と思つて）御尋ねの文言では其妻君は隸屬的關係に依つて夫に倚つてゐると見えます。私共はそんな關係を正當な夫婦關係と認むるのは厭です。從つて御氣の毒ですが私には此問は問題ではありません。

又此過渡期に當つて實際そんな境遇にゐる人々をどうしたらよいかとお尋ねになるのであつたら、それは慰藉料を貰ふなり、又子供は分けるなりみんな合法的に出來るし又實際の御手本としても手近い岩野清子さ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

んの樣にドン／＼やるが好いでせうし、私共はそんな人々に對してはお氣の毒と思ふ外別に同情もありません。

大體の心構へ

林　靜太

拜復、御尋ねの問題に對しては、小生としては、何とも御答へ致し兼ね候、但し斯樣な場合に執るべき大體の心構へに就いて……

思想問題として兎も角、吾人の實際生活に於ける出來事――此種の問題のみに限らず、素より此種の問題をも含む――としては是れに對するに、感情一方に走る事（多くの婦人に有り勝ちの）無き樣、又理性一方に走る事も餘り好ましからざる儀と存じ候、要は所謂出ず入らずを以て可とする者に候。

而かも歸着する所宗教的信念は、婦人のみにあらねど、無くてかなふまじきもの丶一つと存じ候。と丈けは申上ぐるを得べく候。

先は恐答迄草々不一。

當分別居位が第一手段

婦女新聞主筆福島四郎氏夫人　福島貞子

御申聞け丈の御返事ならば子供等に對する義務の上にも夫への道德的責任の上からも離婚不承知を法にうつたへてもいどみたく候

當分別居位が第一手段かと存じ候。

民法には

離婚の場合子供に就ては、斯く規定してあるのみである。

第八百十二條　協議上の離婚を爲したる者が、其協議を以て子の監護を爲すべき者を定めざりしときは其監護は父に屬す

父が離婚に因りて婚家を去りたる場合に於ては子の監護は母に屬す

云々

此の規定によれば、男が養子に行つたものである場合の外は、子の監護は父に屬するを原則して居るのであるから、女は離婚を承諾するの場合特に子供に對することは要求して權利を得て置くべきである。ボンヤリ離婚の手續を濟ますと、子供は男に取られて了ふ、注意すべきことである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二等當選

問題は子供です

久米通子

まづ人道に對して目醒めよ。といふエレンケイ女史の言葉を借りねばならぬと思ひます。すでに數人の愛兒がある以上、單なる男女戰として見る事はできませぬ。問題は子供であります、人であります。

家本位、男子本位の我が制度では「腹は借りもの」とさへにいひまして、何麼不合理、理不盡でそれがありませうとも、決して女子に味方は致しませぬ。夫の家から放たれた女こそは、無援孤立の城寨を頑守するに等しく、あらゆる嘲笑と侮辱とを甘受せねばならぬ今日、妻たるものの地位は夫の厚意によつて僅に維持されて居る今日。その夫の厚意の失はれたる場合は寧ろ想像の外であらねばなりません。

若し夫れ外面的に立派な態度とでも申しませうならば卽ち捨てられたと同時に此方からも、きれい薩張と思ひ捨てゝ、海外へ見學旅行でも企つるのでせうね、無論直に籍をぬいて、受けたる凌辱の賠償とでもいふ意味で、夫たりし人から出費させるのです。

それともそれは子供のない間柄で始めてできうる強い行爲でありまして、所謂頸枷のある婦人には到底爲し得難い事でありませう。其處が痛い齒痒いそして女の弱い而も女の強くならねばならぬ點であらうと存じます。

再び申しまするが問題は子供です、子供です。第一父たるべき男子が愛すべきを愛する念慮がありましたならば、抑々此麼結果は生せぬ筈であります。その父にも顧みられぬ可憐兒を、誰が其冷え凍えた小さい手

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を、柔かい白い胸で温めてやりませうぞ、學齢頃の子供が親切な優しい批評をいかに必要として居りませう彼らの枕邊で彼らの喜ぶ美しいお伽噺でもしてやつた夜の寢顏の如何に尊く和やかでありませう、多少經驗を持つた人の容易に首肯する事柄であります。なほ成長、自覺するやうになればなつて、普通な母でもなほ父よりは、彼らは必要と致しませう、家に母の待つて居るといふだけが已に彼らの力であり、温みであります。温情を知らぬ人は到底不幸たるを免れません。

其あはれな彼らをどうして打捨つて出られませう?それでは子供が何うなります、否弱い小さい人達は我が父母にも顧みられず、この廣い冷たい世をどうして渡りえませう? 私がさうした場合に置かれましたならば、私は信頼する事の出來る夫の友人(ならば二名を望みます)の立會を請うて、兒等を貰ひ受けて仕舞ひます、同時に保育料とか敎育費とかいふ名で相當の金額を請求し、之が聽かれるといふのが理想ではありますけれど、家本位の我が今日では、其たゞ一人の兒を貰ふのも易からぬ事ときゝます。

第二は子供らの成長するまで確と無干渉で預る事の一事です、この場合は離籍を致しませぬ。籍を其儘に置くといふ事は、別離の夫妻には不徹底な而も不快な事でありますけれども、これ丈けは子供を主として考へねばなりません、卽ち子供の爲めに父も母も情人もこれだけは忍ぶべきであります。

なほ切實な希望を述べますならば其立會人を權威ある婦人であればよいと思ひます、されども今日の如く純潔を缺ぐ男子の跳梁する世にそれは望み難い事でせう。縱、さうした婦人がありませうとも彼の男子に對し權威がなうては價値ない事ともなります婦人がもつと〳〵社會的に勢力を得て不純な男子を齒せぬといふ世にもなつたなら、其温味ある判斷に不幸な婦人が助られる事であらうと存します。

さて一には子供と離れぬ事。及び經濟的に安心を得ました上は、當面婦人の覺悟が大事でありませう。それは心の脫殼の骸骨のやうな人でも同居して居るのと

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

別々になつて了つたのとは非常な差異であります、一體結婚生活といふものが生優しい努力や忍耐では出來ぬ事がらではありませうけれども、それにもまして一層の努力を要します、すなはち凡に於て超然たる必要があります、宇宙に於ける人類の一員といふように我身を觀じ、まづ心をゆるやかに持つて、我が愛兒は我が最愛であると同時に時代の相續者でありと考へねばなりません。憎い放縦な血を受けた彼の子でもなければ、また懐かしいやさしかつた彼の形見でもないのです。極めて冷靜にそして我が使命の尊さを感じて、之が敎養に心を潛め敢て怠るなきを希望みます。自分自身の發展向上で努力すべきは申すまでもない事であります。

かくて一藝一能に上達すべきは難からぬ事と存じます。かのうるさい男女關係の爲めに懊惱するなく、醜い小さい事柄の爲めに煩悶せしめらるゝ事あるなく、いかに淸福をかちえらるゝ事どもでありませう。要は當面婦人の心の持ち方で……斯うして造りあげられたる人格は火にも燒かれず、肉に容すだけの勝利を得ることが出來るのであります。たゞそれらの途にある薄幸な婦人に對し「寂寥なる生活」といふ同情らしき、そして侮辱的な言葉を用ゐますけれども催眠術をかけられたものゝやうに、いはれる儘に寂しい我身と喞つのは未だ思慮ある女とはいはれませぬ。自分を知るものは自分であらねばならぬ、殊に婦人が男子の意見を意見とする要はありません。

正直にして親切なる婦人は必ず神の囁きを直感しうるといふ信念を持つて、彼等に對しては、寧ろ反撥力を與へて呉れた事を謝し、失はれたる無限の損失をこの心持ちで取かへすのは、我を尊敬し幸福ならしむる所以ではありますまいか。

なほ捨てられた妻としてではなくて、第三者としてならば、爲すべき數多くのあります事は申すまでもないことであります。

（三月十五日夕）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

石汁の例へを思へ

三等當選

呆木生

昔から合せものは離れものだと能くいふが、是れを合せたものは離れるのが當然であるといふ風に解したくない、合せたものは離れ易いからお互ひに注意せよといふ意味に解したいものである、然し私は此の俚言には不滿を感せざるを得ない。私は夫婦の關係を水の流に喩へたい、結婚しない前は岩や木の根に堰る丶小川のやうなものである、此の潺湲たる二つの小川が合して千里の曠野を灌漑する所の滔々たる一大河になつたものが即ち結婚した男女である、されば若し夫婦が各々自分の領域を越えて他に侵入するやうなことがあれば、其れは丁度水が氾濫したやうな害を爲す、また分れ爭ふのは水が枯涸したやうなもので最早灌漑の役を爲ない、水は丁度好い分量を以て流る丶必要ありとせば、夫婦は自己の分を忘れたり、分れ爭ふたりするのは良くない、平凡な譬喩であるがまア然う言つたやうなものである。

二支流が合して一つになつたものは、如何なるものを持つて來ても切り離すことは出來ない、神の合せた夫婦は人是れを離してはならない、斯ういふ前提から私は少し論じて見たい。

妻の方にも罪なく、夫の方にもさしたる罪なくして夫から離縁された場合は、其の妻の執るべき態度に就ては、私は彼のイソップ物語の中の石汁のことを思ひ出す、こ丶に貧しい人があつて或日金持の所に物を貰ひに行つたが斷られてしまつたので、其れなればせめて濡れた着物だけでも圍爐裏で乾すことを許して貰ひ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たいと頼んだ所が、金持は別に損にもならないので許すことにした、すると貧しい人は今度は石汁を拵へたいから鍋を貸して貰ひたいと頼んだ、金持は貸すだけなら大した損もないので承知した、そこで其の貧しい人は一個の石を鍋の中に入れて、其れをコト／＼煮初めた、石汁とは一體どんなものであるかと思つて、其處の奉公人なんかゞ好奇心に驅られて、鍋の中を見て居たが、やがて汁を拵へるには鹽が入るだらうとて鹽を持つて來て入れ、次ぎには肉も入れなくてはといふので臺所から肉を持つて來て入れ、野菜も入れなくちやいけないといふので持つて來て入れしたので、遂に立派な汁が出來上り、貧しい人は思はざる御馳走を腹一杯食べることが出來たといふのである、私は此の貧しい人の智惠と、其れから辛抱とがあれば、どんな人をも動すことが出來ると信ずる、初めに斷られた時腹を立てゝしまつたなら貧しい人は決して御馳走にあり附くことは出來なかつた、凹されても直ぐ元の形に還るゴム毬的辛抱と彈力を有する者は必ず最後に勝利を得る、故に夫にも罪なく、妻にも罪なくして夫から離縁された時には、此の石汁を拵へた貧しい人の隱忍ゴム毬的彈力を勸めざるを得ない。

然し夫が非常な不義をして（例へば他に情婦を拵へたといふやうな時）罪のない妻を離縁するといふ場合は、卒直に夫の意見に從つて別居をし、其の改心の時を待つのが一番穩當である、よし同樣を要求するの權利があつたにした所で、夫婦間の問題は法律で解決すべきものではなく、又解決さるべきものではないから法律上の勝利者となるよりは、寧ろ道德上の勝利者となることを心掛くべきである、西洋なぞに於ては娘にして父を訴へたといふやうな例もあるが、權利を主張するよりも、主張すべき權利を抑へて居る方が立派な場合がある、斯ういふたからとて長いものには卷かれよ、妻は夫に從へといふやうな舊來の習慣からいふのではない、終りまで忍ぶ者は必ず救るべしといふ信念からいふのである、人が人を審判かずとも審判く者は他にあるからいふのである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夫の不義に對して妻たる者が全然無責任の位置に立つといふことは出來ない、妻の耻辱は夫の耻辱であり夫の耻辱は妻の耻辱であるとするならば、夫の不義の幾分を妻が負はなくてはならない、言はゞ共同責任である、夫の方から妻の責任を云々するのはよくないが妻は自ら責任を感じなくてはならない、既に幾分の責任ありとせば自分も謹愼の意を表する態度に出づることは決して惡くはない、(夫を責むべき理由は充分あるにせよ)、全然妻に責任がない場合にしても、法律で權利の爭ひをすることは斷じて不可である、よし勝つた所で覆水盆に返る譯のものではなし、太陽の所有權を得たやうなものである、自分のものにすることも亦近づくことも出來ないのであるから、所有權のないものと同じである、故に私は此の場合にも苦節を守るのが上分別であり、最後の勝利を得ることになると思ふ、少なくも天下の同情は一身に集る、だから夫に罪あり妻に罪なくして夫から離縁されたなら、凝と忍耐して星の數すら御承知の全能者に一切を任せ、默して時の來るのを待つのが一番賢い方法である、泣く者は必ず慰めらるゝ時がある。

其れから、夫が道に志して捨てられた佛陀、西行、トルストイと言つたやうな人達の夫人の執るべき道であるが(是れは離縁されたといふのではないが結果は離縁されたのとあまり變りがない)私は西行の撰集抄の中から或一節を引いて、其れに依つて此の問題を解決したいと思ふ、西行が長谷寺で捨てた妻に再會した時に、妻の語つた言葉である。

君心を發して出で給ひし後、住み浮れて宵毎の鐘もすゞろに涙を催し、曉の鳥の聲もいたく身にしみて、哀にのみなりまさり侍りしかば、過ぬる彌生の比、頭おろしてかく尼になれり、一人の娘なれば母方の伯母なる人の許にあづけ置きて高野の天野の別所に住み侍るなり、扨も又我はさけく如何なる人にも馴れ給はじ、由なき恨も侍りなまし、是は實の道に導き給ひぬれば、露ばかりの恨み侍らず、かへりて知識となり給ふなれば嬉しくこそ。

是れは非常な人の非常事であつて、私共には餘り關係ないことであるが、然し西行の妻のやうに露ばかりも恨み侍らずといふ覺悟を持つて居たなら、夫なる人は一層强く道に志すことが出來るわけである、トルス

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

トイが家を出づる時に妻に宛てた手紙の中に『理解せよ、確信せよ』と言つてるが、さういふ夫を持つた妻は、折角志を立てた夫に同情し、其れを理解し、其れを確信して、共に同じ道を進まんとする決心を要する。

本誌一ヶ年間を進呈します、住所姓名、お知らせを乞ふ。

西川光次郎著

斷食療法

定價七十五錢 郵稅六錢

『一週間とか十日とか、乃至は十五日とか、廿日とか、繼續して斷食せねば駄目であつて、ソレは危險でもあり、又ナカ〳〵勇氣がなくては出來ないことである』と、云ふ人がある。成程一週間以上の斷食は經驗家の監督の下にやらねば危險であり、且つ固疾を癒す場合にのみ必要なのである。故に若し斷食と云ふことは一週間以上も繼續せねば、何んの效力もないものであるとせば、別に斷食に關する知識の普及を計る必要がないが、何人も一週に一日は斷食し若しくは一日二食とせば、其人の健康增進の上によい』と云ふ理由があるので、著者は其の思想を擴めたい爲めに、斷食に關する名著數種を參考し、之れに自分の經驗を加味して此書を拵へたのである。著者は日本の各家庭が此書を備付くるに至る日の來らんことを希望して止まざる者である

發行所 東京小石川區櫻木町六 北文館

取次本社（本誌の讀者よりの御注文は郵稅を免除す）

（あやめ節句飾）

陶製 五月節句豫約品 金貳圓

▲三銀好新意匠（高サ一尺二寸）地方送料卅錢（桐箱入）

●申込は至急送品は廿日

▲此一揃で御節句が出來升

兜飾 壹個
鎧櫃 壹個
花活 貳個
造花 貳本
柏餅臺 壹個

敷物段付

陶製は永年に蟲蝕の憂ひが有りません

參圓景品付 三銀愛陶會 會費毎月金壹圓

○○おさらい（まき）（物用）

お好の印入

▲今年のまきものは實用の湯呑が非常にはやり

上等箱入 八十錢

●自製陶器舖
●電新一六卅番（東振二五七五番）（東京銀座イ七番）

新橋 三銀

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

朝日に匂ふ
櫻は日本の名花
博士大家の證明せる

中將湯は

最も効驗と
信用のある
理想的婦人藥

■主治效能

- 子宮病
- 婦人神經
- 逆上頭痛
- 夜眠れず
- 腦加答兒
- 下腹痛み
- 産前産後
- 難産流産
- 下經滯り
- 血の道
- 氣ふさぎ
- 癇高ぶり
- 內膜炎
- こしけ
- 足腰冷込
- つはり
- 月經痛み
- 血ぶとり

▲加減藥あり容態詳しく申込め
定價 一週分 七十五錢 四週分 二圓五十錢

定價

二日分	二十錢
四日分	三十五錢
一週間分	六十錢
三週間分	一圓六十錢
五週間分	二圓五十錢

本舗

東京日本橋通四丁目
津村順天堂本店
電話本局六二二番
電話本局六六三番
振替口座六〇八番

大阪市堺筋大寶寺町
津村順天堂支店
電話南二十五番
振替口座四五六番

▲中將湯は世界到處の藥店に販賣す◎市中は配達す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本店　日本橋呉服町
堀江町支店　日本橋堀江町
本郷支店　本郷三丁目
赤坂支店　赤坂田町
本所支店　本所龜澤町

株式會社 東海銀行

京橋支店　京橋尾張町
三田支店　芝三田一丁目
淺草支店　淺草並木町
牛込支店　牛込通寺町
麻布支店　麻布材木町

一定期預金　六ヶ月以上　年五分
一當座預金　百圓ニ付　日歩五厘
一特別當座預金　同　日歩壹錢

東京市日本橋區坂本町七番地
合資會社 田中銀行
電話壹九九番
浪花貳四〇番

最も人にきらはれる
わきが

の病に罹られたる御方又永年慢性わきがにて色々の治療を施されても治らずに苦まるゝ御方の爲めに不思議によくきく治療法を御知らせ致します御望みの御方は御遠慮なく只返信料三錢切手御送り下されば御知らせ致します。

東京神田區錦町三ノ三　中村喜三郎

家傳靈藥

ぢの藥

自宅ニテ安全ニ治ル

●イボ痔●痔座●裂痔●痔出血●脱肛痔●痔瘻●不灼不切現狀の儘で治療奏効頗る顯著の家傳靈妙藥あり「ハガキ」にて申込有ば病原理由自宅自療法の説明書呈す

●東京市京橋際疊町壹番地

製藥本舗　小松盛林堂

電話京橋二九七

產婆看護婦派出
生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號

東京衛生團產婆看護婦部

電話芝八百六十四番

部長　產婆看護婦　山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地

產婆部　大崎支局

產科婦人科（宅診午前）
小兒科（往診午後）

內藤新宿番衆町三一

女醫　井出茂代

電話番町三六七七番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

祝三週年紀念號

東京市麹町區内幸町一丁目三番地
電話新橋 長二一〇〇、二一〇一番
振替貯金口座 東京一八、九〇〇番

太平生命保險株式會社

社長 中村靜嘉
専務取締役 楠秀太郎
取締役 村井貞之助
取締役 内野五郎三
取締役 前川善平
取締役 倉知誠夫

取締役 左右田棟一
取締役 舟木錬太郎
監査役 潮田方藏
監査役 左右田信二郎
監査役 中田敬義

産科
婦人科

篠田病院

（入院随意）

女医　篠田せい子

本郷區丸山新町

電話下谷四〇六八

リウマチス

▲難病にてあらゆる療法効なく御困りの御方に不思議に早く治る弊店家傳の……秘藥を御報らせします、御全快の皆樣から日々澤山の感謝狀を下されます

東京市淺草觀音仲見世。天勇橫通

井筒屋油店

電話下谷……三一五番
振替口座一九六五二番

皮膚科　梅毒科

泌尿器科　腎、膀胱、尿道、睾丸、攝護腺ノ疾患

生殖器科　男女生殖器機能障害

婦人科

日本橋區通二丁目白木屋出口前

電本局三九八〇番

中嶋醫院

院長 ドクトル メヂチーネ 中島鎌太郎

新設 芝區田村町十三番地愛宕下町通り

中嶋醫院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

腦病精神病專門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

（長電話番町三〇九八）

院長　醫學博士　石川貞吉

入院隨意

●らい病（びやう）

患者（くわんじや）と血統（けつとう）者（しや）に急告（きふこく）す

秘密療法及豫防新書を送費二錢送れば無代送呈す一日遲れば千日の悔あり今直に申込め秘送は小包料八錢要

東京下谷車坂町五二　福田秋水

腦神經精神病

東京赤坂

帝國腦病院改

青山腦病院

院長ドクトルメヂチーネ　齋藤紀一

醫學士三名

田澤醫學士

特長電

芝二七四四

芝二六六五

芝三六七五

腦病精神病專門

南葛飾郡龜戸、龜戸一一二〇

加命堂腦病院

電話本所二五五三番

院長　奈良林淺次郎

カタノコリ、神經痛、リウマチス總て痛所に妙効あり（五拾錢・二十錢・五十錢）全國到る處の藥店にて販賣す

東京市日本橋區箱崎町二丁目　東京製藥社

にきびとり
藥煮やぼん

にきびをとり●ひぜん、たむし、いんきんなどの皮膚病を治し●傳染病の豫防に効力あり●あらゆる消毒に用ふれば硼酸石炭酸の代りとなり又化粧用手洗用にも適し重寶此上なきしやぼん也

定價（小五錢 大十錢）

送料（一個二錢 一打入一函八錢）

岸田
精錡水
目藥

▲目藥のオーソリテー▲

定價十五錢

近來同名の擬藥多し御注意を乞ふ

東京銀座
精錡水本舖
岸田吟香商店
電話京橋六一五
振替東京四七八七

新形舶來
ルーデサック

品質うすく軟く且強ければ使用上毫も遺憾なし（一ヶ年以上保存確實なり）

拾個六拾錢●廿個壹圓拾錢●五拾個貳圓四拾錢●百個四圓四拾錢●貳百個八圓（卸賣相談）

流經靈藥
月やく通經劑

●價一劑九拾錢●二劑壹圓六拾錢●三劑貳圓貳拾錢●特別製分貳圓九拾錢●頑固症用特別製分五圓參拾錢也

●は月やく閉止●不通●不順●困難等に用ひ速に其目的を達し流經作用の偉効確實なると遙に他の類似藥に優越す

わきが必治劑

●小劑壹圓八拾錢●輕症用貳圓八拾錢●重症用五圓八拾錢●慢性症用特別製分拾圓八拾錢

は腋臭病の病原汗腺な其根本より變質せしむべき目的にて幾多研究の結果漸く完成せる特効藥也●難症腋臭にも著効有●ワキガにて悲觀しつゝある患者は速に試み苦惱を脱せよ

毛生新藥（けはへしんやく）

本劑（ヘアーグロース）は多年學理實驗の結果遂に發見するを得たる靈藥なり●禿頭病●やけど●はれものゝあと●はへぎわうすき●陰部毛なき●總べて毛のあるべき處に毛なき人は速に試み其著効を知られよ

價●小瓶壹圓貳拾錢●中瓶貳圓貳拾錢●大瓶五圓參拾錢●特別製分拾圓參拾錢●毛生藥は多しと雖幸に玉石混同視する勿れ

東京神田區五軒町
日新館藥房
電話下谷一五四六番
振替東京九貳四六番

ホシ胃腸藥は日、米諸大家の最新の處方に依て調製せし特効劑なり

定價
二日分 十錢
六日分 二十錢
十八日分 五十錢
四十日分 一圓

他に醫藥、賣藥四十有餘種各特約店にあり

顧問
醫學博士 理學博士 野口英世
ドクトル 杉本順造

資本金百萬圓
星製藥株式會社
東京京橋
電話京橋特一七八五 振替東京二〇五二二

花咲けば

唐澤　純正

櫻さく頃より胸に殘りたる、
憎みの傷の癒えがてにあり。

この憎み去年(こぞ)もなやめり空みれば、
ただわけもなく泪ながれぬ。

四月の空我には悲し花さけば、
風吹けば更に胸に波たつ。

春かぜの吹きてしあればぢつとして、
居られぬ程にいらだたしき哉。

眼(まなこ)とぢ机に頭おしつけて、
さて如何にせむいらだつ心。

春みつきただいら〳〵と病み犬の、
ごとく街(まち)をうろつきてあり。

又しても我を狂氣にする春の、
風日に吹きて日に吹きてあり。

おしろいの香にしみし柔肌抱きしを、
思ひ今われ孤獨に泣くも。

三味線のつめたき棹(さを)を握るとき、
ことさらわびし我たへられず。

思ひつつも獨り苦しみこの頃の、
だらけし心見入るはつらし。

戀(こひ)を戀うてたのしみ居れる此頃は、
いとも寂しき我にもあるかな。

この頃は戀するあてもなかりけり、
空かすみ花さき春の風吹く。

久しく會はであれば又更に、
戀しき君となりにけるかな。

いくとせか彼の君と相見ざりけむ、
十八の春の匂へる花はも。

野菊に似たる君よと云ひて手をとりて、
語りし昔われは戀しき。

春今宵三味線のねにかなしくも、
櫻ひら〳〵散る今宵なり。

床の間に立てかけし三味の糸まきの、
きり〳〵といひてそらどけぬ悲し。

春の雨そぼふる宵をひとり身の、
わびしらに三味ひきてあるかな。

春の雨にぬれたる宵のともし火を、
街に見てなく身のあはれなり。

（一九一六、三、一二）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

セルギヤの女性

中尾清太郎

イヴン・メストロキックを紹介しようと思つたのは、去年七月頃アメリカやイギリスから來る雜誌を見て直ぐであつた。それで彼に就て何か書かうと思つてゐる内に、先づ「萬朝」と「讀賣」とが、この『セルギヤのロダン』を一枚づつ紹介してしまつた。それがあまり目立たなかつたけれども——またあまり世間の反響を喚ばなかつたけれども、私は私丈で別に紹介してみたいと思つてゐた。それ程私はイヴン・メストロキックを面白いと思つたのである。で私が十一月初代小林齒磨王の『聖書日日實行訓』を出版する時、イヴンの『キリストとサマリヤの女』を一枚其本の挿畫に入れて置いた。恐らく斯う云ふ仕掛でイヴンの製作を書物に入れて出したのは、私が初めてであらうと私は窃に小さな誇を感じてゐたが、これにも何等の反響はなかつた。——それはイヴンであらうが、誰であらうが、さう云ふ宗教書を見る人には、畫なんか何でもよかつたのらしい。

それでもまだ私は、思ひながらイヴンを紹介することを懶けてゐた。新眞婦人には『ヘマンズ夫人の事共』の續稿が文債になつてゐたから、元よりこれには書かうとは豫期しなかつた。ところが、數日前、私の知る『中央美術』の編輯者が、四月號の同誌にイヴンの事を載せると報して呉れたから、誰が書くのだと聞くと、高村眞夫君がヨーロッパから歸つて來て、ロンドンの土産話にイヴンの展覽會を觀た事を書いて呉れるのだといふのだ。それで私は急に、短くてもいいからとして、此紹介を『中央美術』と同月に出る、先に出さうとは思はなかつた此新眞婦人に載せることにした。

つまらない前書が長くなつたけれども、私にしては

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

これ丈の事を言はなければ氣が濟まなかつたのだ。また、これから言はうとすることも出なかつたのだ。讀者！鷗外さんが此頃「大每」と「東日」とに續けてゐる『澁江抽齋』はこんな書振ぢやないか。

さてイヴン・メストロキックと云ふのは、今年三十三になる『セルヸヤのロダン』の呼名のある新進彫刻家だ。彼はセルヸヤの百姓の息で、少年時代は南方のダルマシヤの岩山で羊飼をやつてゐた。まことに天性であつたと見えて、土を捏ねて人形を造り、木を剡つて馬を拵へ、石で彫物をする程に、そんな遊ばかりが好きであつた。そして遊の結果は、村の自分の友達に與へて獨り喜んでゐた。村の人達は此面白い少年の爲めに金を出し合つて、彼をザツグレツブの徒弟學校に送つた。十八歳の頃更に一富豪に見出されて、ヸンナの美術學校に入れられた。二十歳の時には、其處の『セセツション館』で第一回の個人展覽會を開いた。それからパリへ行つて、初めてロダンや Bourdelle の注意を惹いた。一九一一年にはロマで展覽會を開いた。ベルグラードでも開いた。さうして漸く名聲を收めた。戰爭が始まつてから、去年六月ロンドンの『ヸクトリヤ●エンド●アルバート博物館』で、最近の展覽會を開いたが、それがイギリスの彫塑界を撼かし、其評判は逆戻りして大陸やアメリカにまで響き渡り、延いて日本にも聞えて來たのである。

『セルヸヤの女性』

彼の彫刻の特徴と云ふのは、全くセルヸヤの魂をうつし出すと云ふところにある。丁度ドストエフスキイがロシヤの魂を寫し、ダンテがイタリイのそれを描い

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てゐるやうに――。ただしイヴンのうつし出すセルヸヤの魂は、イヴンとおなじくセルヸヤに生まれ、セルヸヤに鬱結する悲痛と凌辱と逆忍とを味はつたものでなければ解かるまいと云ふ。最初『ヸクトリヤ・エンド・アルバード』で彼の製作を觀た批評家も、たゞ惘れ、たゞ惑ふばかりで、口の利きやうもなかつたが、遂に其野蠻的な生力に氣壓されてしまつたのだ。『土曜評論』の記者などは、ロンドンでイヴンの藝術の完全な理解を見ようと云ふのは、そりや無理だ。彼を理解するには、セルヸヤの生粋を味はなければならないので、あのセルヸヤ人の生得權になつてゐる閉ぢ籠められた憎惡や、最後の革新の信念や、滅びざる謀叛氣やさうしたものをイギリス人が合點しさうな筈はない。セルヸヤ五百年の惨苦と屈辱とは、セルヸヤ人の根性になつてゐるので、それがどうして同じの經過を取らないイギリス人に解からうか。と斯う言ふのである。

其通り、イヴンの藝術は深くセルヸヤの國民性に根ざしてゐるのである。元よりヨーロッパのアカデミイの所産でないから、或はヨーロッパ人にも解かるまい。さうなつて來ると、日本人には更に解からないことになるかも知れない。

玆に試みに『セルヸヤの女性』と題する彼の彫刻の複製を出して讀者に問ふ。數世紀の間を壓し潰された桎梏の下に、常に自由を喘ぎ覓めながら、粗剛の無樂と、制し切れぬ氣力とを、其面影に漂はす此代表婦人のタイプを見給へ。

創作

亡き稲子へ

山本勇夫

いね子――

僕は先達中からおまへを葬つてあるお寺の地内に住

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つてゐる。その中、お婆さんもお爺さんも、小さい兄さんも移轉て來ることになつてゐる。二三日前から、室内を手入れ仕始めたから、今月中にはきつとさうなるに定つてゐる。

『いね子はさうなつたらさぞ喜ぶだらうよ。』

お婆さんはさう言つて樂みにしてゐる。僕等一家が此の寺に來ようとは、考へもしなかつたことだが、さうなるといふのも、本當におまへとは深い緣なんだらうと思はれてならない。

おまへが亡くなつてから、もう五年にもなるが、僕は一と月だつておまへのお墓に詣らないことはなかつた。ひよいとした都合で、お前の命日にお詣りするのを忘れたりすると、おまへが待つてゐるような氣がして、翌朝はきつと早く行つてゐることをおまへは知つてゐるだらうと思ふ。

『いね子は紅い花が好きだつたから。』と、お婆さんがさう言ふので、僕はきつと紅い花をお墓にあげて來ることにしてゐる。どんなに花が少ない時季でも、決してあの寂しい樒の葉なぞはあげたことはないのだ。一番をかしいのはね、お寺の門番のおかみさんが、おまへのことを僕の子だと思つてゐることだ。めつたにお詣りにも來ないおまへの實の兩親のことを他人だと思つてゐるらしい。しかし僕はそれを却つて嬉しく思つてゐるから、さう思つてゐるが儘に任してゐるのだよ。

いね子――

おまへが死んだときのことを僕はよく覺えてゐるよ。それはお盆の十五日だつけね。友禪の單衣を着たおまへの手を引いて、うちのお寺詣りにお爺さんといつしよに同伴れて行つた、その翌日おまへは死んだのだつた。あの日には、僕の家で買つて上げたかつこをおまへは穿てゐたのだつた。

『いゝかつこだから、十五日におしなさいよ。』と、おまへのお母さんがさう言つて惜んでゐるのを、僕がさう言はないでお穿せよと、さう言つて同伴て行つたのだつたけね。あとでお婆さんは早く穿せて遣つて、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つたと言つてゐたよ
僕はおまへが死ぬ十五日の朝、會社の出がけにおまへが病氣だといふのをきいて、おまへの家に行つて見た。その時おまへは眠つてゐた。おまへの枕元に行つた僕は、さうした時には、いつでもおまへをおこしてでなければ承知しないのだつた。おまへのお母さんが、
『いまおこされては困りますよ。』と、さう言つてもかまはずおこすのだつたけれど、病氣だといふので僕は我慢してそれなり出勤して了つたのだつた。蒼い顔でもなし、大して惡いとも思はなかつたものだけれど、あの日に死ぬんだつたら、ちよつとでも起して逢つて行くのだつたと、僕はそれをどんなに殘念に思つたことだつたらう。

それつ切り生きたおまへに逢ふことが出來なくなつて了たのだもの。あの時おまへのお母さんは、もう一度僕に見て貰らふと思つて、僕が歸つた後を追つて門口迄出かけたのだつたさうだつた。しかし僕はそんな事は知らなかつたものだから、ずんずん行つて了つてもう間に合はなかつたのだつた。

いね子——

あの日、何といふこともなしに會社を正午限で家に歸つて來た僕は、本當に驚いたよ。だつて、お爺さんが座敷の中央に立つて泣いてゐるんだもの。
『ぼ、坊やが死んぢやつた、坊やが死んぢやつた。』とかう言つて、手ばなしでおいおい泣てゐるんだもの。その日、おまへが死ぬとは迚も思つてゐなかつた僕はお爺さんが發狂したのだと思つたからさ。

しかし、おまへはもう其の時本當に死んで了つてゐたのだつた。

さうと知つて駈付けた僕が、おまへを見た時のおまへは何んといふ變り方だつたらう。リンゴの樣に紅くつやつやしてゐる頬は、蒼白になつてゐた。くりくりとしてゐた眼はもう閉ぢてゐた。可愛らしいといふおもかげは何處かに退いて了つて、大人のような長い顔になつてゐたぢやないか。

『いね子やあ――』僕は呼んだつてかへらないことを承知してゐ乍ら、僕はかう幾度呼んだことだつたか。僕は止め度なく流れ出る涙を拭き乍ら、おまへの家の人等に悲みの模樣が少ないことに不平を持つたりしてゐたのだつた。

あゝ何うしたらいゝのだらう？

かう僕は思つて、身の置き處さへなく殘念に思つたお醫者さんの△△さんや、おまへの家の人等をどんなにか恨んだことだつたらうか。おまへの命をとりとめることが何故出來なかつたか僕は口惜しくつてたまらなかつた。

『こんなに成つて了ひました……』と、かう言つて、おまへの顏にあてた白布をとつて泣いてゐるおまへのお母さんを、あの時程にくらしく思つたことはなかつたよ。

いね子――

おまへを此のお寺に埋めたのは僕の意見だつたのだよ。

おまへの家では法華宗だつたから、禪宗の此のお寺に埋めることは不服だつた。葬式やなにかの都合で、暫く骨にしたなり置いといて、田舍に持つて行つて葬らうといふのがおまへの家の人の考へだつたのだ。それに僕が何で承知出來よう。おまへの棺に納めた玩具の悉くが、僕の家で買つて遣つたものであつた程のおまへぢやないか。一日として僕の家に抱かれて來なかつた日はないし、漸く歩けるようになつてからは、朝起きむくりに僕の家に來て、遲起きの僕と一つしよに朝飯を食べて、毎日夕方迄ゐたおまへぢやないか。

僕は遂う／＼、僕の家のお墓におまへを葬るといふ主張に勝つて、僕の弟を埋めてあるところにおまへを埋めさせて了つたのだ。それで僕は、せめてもの情を自分に滿足させたのであつた。

『死んでつから、坊やは本當に自家の者になつたのだね。』お婆さんやお爺さんは、かう言つてゐた。僕も本當にさう言ふ氣がしたのだつた。生きてゐる時は、どんなに僕等はおまへを可愛がつてゐても、矢張おまへは

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

宮田のいね子だつた。けれど、今では何うしてもおまへを僕の家の一員としか思へなくなつてゐる。

おまへは、燒かれて骨になつてゐることを、僕の理性は認めてゐる。けれど、あの白木の棺の中に、紅い布でこしらへたお猿さんを抱いて眠つてゐる、その儘の姿が、此處のお墓の下に埋まつてゐるとしか僕には今でも思へない。

『掘り出して見たいな。』そんなことを僕は幾度お婆さんにさう言つたか知れなかつた。若しおまへを燒かずに埋めたのだつたら、きつと僕は掘出して見たことがあつたに相違なかつたよ。

いね子――

おまへの兩親は、失敗した結果一昨年の暮れに、妙義山といふ遠い處に行つて了つてゐる。けれど、僕等の一家は、何間と隔つてゐない處に、これからしよつ中住つてゐるのだから、おまへも今では寂しくはないだらう。

『いね子さへ生きてゐれば、俺は酒を飲まないでも、東京で育つてやるのだつたが。』昨日もお爺さんはさう言つてゐた。おまへの兩親が妙義山に行つたつても、おまへは決してあんな山の中には遣らなかつたよ。僕だつて烟草位やめたつてもね。

おまへがさう言ふので、僕の母や父のことはお爺さんお婆さんと呼ばれるようになつて、今でも近隣の人等はさう言つてゐる。けれど、言ひ出したおまへはもう此の世にゐない。たゞその呼び名丈けが殘つてゐる何ういふ情けないことだらう。――僕は玩具を見ても面白いものを見ても、おまへにといふあてが無くなつたので、近頃は何うもつまない。

『もう決して他人の子を可愛がるまいね、こんな悲しい思ひをする位なら。』と、さう言つてお爺さんお婆さんは、おまへが死んでから、がつかりして急に年寄つてからは、次第に弱くなつて來てゐるから、もうおつつけおまへの處に行くであらう。けれど、

いね子――

僕は、おまへが何處かにゐさうな氣がしてならない

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いつか僕の妻の腹にでも生れ代つて來ると思つてゐる。

『出來さへすればきつと女だよ。いゝ子が生れるに相違ないんだから。それとも、坊やは男になるんだよつて言つてゐたから男かも知れないが、目のくりくりとした赤ん坊にちがひ無いよ。』と、僕は眞面目で家の者に時々さう言つてゐる。

それにしても、おまへと僕の家の者等とは何といふ深い緣なんだらう。——死んだら骨を賴むぞよ——とさう言ふ唱歌を、何處で聽き覺えて來たか、死ぬ前の日まで、廻はらない舌で、どうしたことか其處のところ丈けをおまへが口づさんでゐた通りになつて了つてゐるとは、本當の話とは思はれない位妙ではないか。

（大正五、三、八、作）

雪

太代子

一

一筆申殘し參らせ候。今となりてはもはや何事も申上まじく、たゞ〳〵子達の上賴み上まゐらせ候。久しう御目もじのことなくて……彼らひとり〳〵の性情など、細々聞えまつり置き度山々存じ候へども思ふに任せぬ命毛のよきに御推察たまはりたく候。

上の二人は朧げながら「父樣」の面ざし忍び上參らせて、こは父樣に頂いたの、こは何時の時賜はつたなどと折にふれもらし候も、信一のみは父樣の意味も解しかぬるが如く、いとゞ不憫に被存候「坊の父樣つてどんなお人？」とよく問ひ〳〵いたし居候ひしを「あら信ちやんは知らないの」と姉にいはれてよりはそれはた、問はず相成つて候あはれさ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

彼もとつて四つのいたいけ……別れ參らせしは彼が二歳の秋、覺えぬは理りと、わらはは胸いたう候。
かやうのこと〴〵くど〳〵きこえんは、なか〳〵につらかるべく萬もらすべく候。
くれ〴〵も子達のうへ念じ上り〱ならば成長致し候までを柳井先生に御託し下され候はゞ、いかにいかに嬉しかるべくやわが思ひ殘すはこれのみにて候。
豫て覺悟の事なるを、今更なる涙の不體なる、かつは御耻しさの限りに存候。
夜半に目さめぬやうひたぶるに祈られて候。罪なき可憐の子達……母なき彼らのうへ切に頼みあげまゐらせ候。かしこ

夫の君　おまへに

*　*　*　*　*　*

もしや或はと、たのんだ甲斐なく、痛い、眞箇に痛い、生きながら灸られるやうな今が來た。夢ではない夢ではない、これはもう動かし難い現實である。私はあらん限りは盡し果した。切ては御祈りをして、最後の祈禱を捧げやうと、健氣にも決心した賤子は、又其處に泣き伏すのであつた。

「神よ幼きもの丶上に……」

やう〳〵身を起したが新しい涙が、あとからあとから湧き上つて來る。

「無理もない、無理もない」

といふ微かな聲が何處からともなく聞えて來る。斯うまで痛い世とも思はなんだ。色彩に富んだ生活らしい味ひも知らずに、若い日をたゞ遽しう、薄暗い臺所と井戸端で消して居た。子供らが寢つくと、姑の御腰を摩つたり足袋の繕ろひなどして夜を更かして居た。それも今となつて見ると、羨しい昔であつたよ。……

泣くだけ泣いた賤子は稍ゝ心が輕くなつたのであらう。　七つ八つ四つの三人の兒は安らかに、時々ウーンと手をさし伸したりして、尊い神の國に遊んで居るこの兒等が永久に目を醒さなんだら、どんなにわたしも心易いであらう？　と若い母親は双の袖で顏を被ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のであつた。
柱時計が四時を報じた。彼女は最早、斯うしてはゐられぬと氣がついて立あがつた。

宵の中に調へて置いた小さいお人形は七歳の姉ちやんに、積木に、お馬とそれ〲枕邊に並べた時、彼女は袂の先を噛じめた。蒲團の上へしたを窃と押へて火鉢にさくらを注いで灰をかけて、ぎゆうと帯をしめ直した。

靜に雨戸を一枚ひくと、ぱつと明がさす。賤子は愕として、庭を凝視すると、何時の間に降り積んだのかそれももう歇んで了うて星のない空には廿日の月が朧乎つと淡雪を映して、閑寂な夜の色が胸に滲むやうである。

賤子はそれが他事でゝもあるかのやうに、不思議なほど沈着た心地でその邊を見やつた。

梅花は今まさに盛りである、そこはかと匂ふそれにも心を止めぬらしく、十年近う住み馴れた懐かしい、そして痛かつた此家を今離れやうとするのに、たゞ物語の中にある人のしてゐる業のやうに思はれて、熱い涙もさそはぬ程に感じがない。

ふら〱に雪に跡つけで、月に對うて見たが無意識に立戻つて、一寸雨戸に身を寄せた。そしてきゝ耳立てるのであつたが、内は人氣が無いかのやうに靜寂である。ほつとしたものゝ、夫れが賤子にはまたなく本意なう、情ない、何だか欺かれたやうにも思はれて、枝に溜つた雪をざくと攫んで足もとに投げつけた。

朝霧の深い川向うで、鷄が鳴き出すと、お隣のも時を告げる。

朝になると彼らを連れに來る人があるのである、あからさまの別離のつらさに私は今、彼らを置いて行かうとして居る、それが卑怯であらうか？　否々心苦しさは私一人ではない何麽に小さからうとも、何でこの母に泣かずに彼らが別れえやう、いぢらしい思ひさせうよりは……それぱかりではない、この私を慕ふ故に若しや憎いものとせられてはならぬ。矢つ張り往かうそれが慈悲であらう、賤子は聲を立てゝ泣いた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「ワツ」と幼い人の聲が耳を擘いた。はつと我に歸つて雪を拂うて立ちあがつて又もや微かに漏れる灯を便りに目を瞬つたが、室内は依然として何の音もせぬ。よろめく足に力を込めて大空を仰いで掌を合せた。淋しい濃い賤子の影が清淨な白雪にいつまでも〳〵も印しては居なかつた。

軈て月に脊をむけて土橋を渡つてゆくのを見たといふものがあつた。

二

柳井家では書生も女中も熟睡して居ると見えて、其時間外の電報を受けたのは、老夫人であつた。發信人は八九年以前、夫人が神田のある語學校で教鞭をとつて居た時の教へ子の賤子なのである。

物に動せぬ夫人も今其人の名を見ると、大きな響に會ふた時のやうにブルツと身を縮めた。

「清教徒に結婚を強ひるなんて、其麼矛盾がありませうか」

といふ彼女の言葉が今耳元にある　私は神樣を呪ひます、自殺が何で罪でせう、人間が人間を苦める世に、自殺が何で罪でせう……と常に似げない強いはつきりした其音が、また私の胸に波うたせてゐる、「電報！」といふので、ふつつり斷れた、その夢の行方を思ひ煩ふ夫人は、不圖暮に尋ねていつた時の有樣など思ひ比べて、たゞ突然に子供を賴むといふ漠然としたこの電報に深い意味が潜むのではないかとも思はれてならぬ。

兎にかく早う往つてみねば……と衣服を更めて夜のあけるのを待ちつけた。

夫人が賤子に目を掛けて居たのは、それが美人であるといふばかりではない。素より我が嫁にと望んだ譯でもない。在學中に賢母の聞えあつた其母と姉とを一緒に亡うた、といふやうな其麼弱いゝゝわけからでもないと夫人は思うて居る。

「ほんとうに先生……わたくし御申譯が御座いません」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

卒業すると其五月の初旬に某醫學士に嫁いだ賤子の消息を誰も知らぬといふて居た。年賀狀さへによこさぬといふて、ある者は賤子贔屓の夫人に態々いひに來たものもあつた。

四五年前、駿河臺下で圖らず會ふた時、さういつて消え入りたいやうに項垂た其横顏がいひしらずあはれにつよく寫つた。まだ二十三四と思ふのに、眞實見違へた。あのふくよかな頬に骨がみえて……私は不覺なあの人中で、つい目をおし拭ふた。地味な銘仙の羽織を着けて居た。私はたゞもういぢらしうてならなかつた。

「人は何麼にいはうと私は貴女を信じて居ます」

といふて別れた、其後一度訪ふたのだけれど尋ねあぐんで……つまり私に熱が足らなかつたのだ、と夫人は堪へ難い思ひに沈みつゝ又も時計を眺めやる。チクチク胸を刺すやうな其音が殊になやましく、かつは其針の運びの鈍さ焦燥さ、が甚しく苛立せるのであつた。夫人は凝然としては居られぬやうに覺えて、部屋の其處、此處と見やつたが、まだ温みのある夜着を疊み重ねて、ついと硝子戸に熱つた頬を當て外方を窺いた。

「オ、雪ッ」思ひがけなさに、思はず恁うつぶやいて恍惚と眺め入るのであつた。葉のない紅葉の枝ぶり、脊の高い赤松、低い丁字、山茶花の植込のあたりから石燈籠の淡い影も今宵は趣深うある。彼岸櫻が咲かうといふのに、まあ寒いことゝ、凍つた手を顏に翳してしばらくは雪の庭の風致をみてあつたが心はあらぬ方に低徊うて居た。歌の好きな賤子を……あの天才を……惜しい事をした私に熱がなかつた故に……惜しい事をしたと夫人は深い悔恨の情に囚はれて、冷えきつた手を火によらうともせぬ。人と人との住むこの世を、もつと滑に、もつとつや〳〵しう、する譯にはゆかぬものであらうか。思慮ある女は終に結婚せぬ事ともならう？嫁がぬであらう？容易うは嫁がぬことともならう？

「でもねえ先生……女が絶對に弱いと申すでも御座いますまい」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ともいうた、私には其意味がいろ〳〵に採れて、殊に今宵は、賤子のさういつた、言葉などが氣にかゝるのである。或は金のある女、子の無い女、力強いといふのであらうか。否々女は矢つ張り弱い、假令、同性を虐げるものがあらうとも、それは一時の粧ひである。無智ゆゑである。つまりは弱のであつて、弱い故に罪を拵へる？　とは何といふ悲しい傷ましい事であらう、

「先生眞個に問題は子供で御座いますわ」

と彼女は滲した調子で、あの大きな目を私にむけて、さうして又聲を落して、

「わたくし、子供の事を考へますと……どうしても生きて居ねばなりませんし」

去年の暮押詰つて尋ねていつた時に、さうもいつた。

女の運命の儚なさは今も昔も變りはない。現かと見た喜悦は夢であつたり、洵にうたかたの泡沫にや比ふべきなり？　行水に數書くやうなそれが女性の生命であらうか。かつ結べはかつ消えてゆく、それが人妻の運命であらうか……私も恁うしては居られぬ。と夫人はまだ軒燈のあるしめやかな街路を、空虚なやうな身を俥に運ばせてゐた。（終）（三月十日）

土の福音を讀みて

黑百合

舊約聖書中に

エホバ神土の塵を以て人を造り生の氣を其鼻に吹入れたまへり人即ち生靈者となりぬ。

エホバ神土を以て野の凡ての獸と天空の都ての鳥を造り給へり。

汝は面に汗して食物を食ひ途に土に歸へらんそは其中より汝はとられたればなり。

また新約聖書に

イエスキリストはつばにて土を和きその泥を生れつきの瞽者の目に塗りて癒し給へりと云ふ言葉がある。

土に親しむ人の健康體なるも謂はれなさにあらずと思へり感ぜしまゝに。

家庭健康顧問會趣意書

私どもの專門にして居る家庭問題の研究中、私共は日本の家庭に、如何にも病人、虛弱者の多いのに氣がつき、今更の如くに驚きました。而して又此の家庭に病人や虛弱者の多いことが、如何に家庭の圓滿を妨害して居るかと云ふことにも考へ及びました。斯くて健康に關する知識の普及を計ることは、目今の急務であると感ずるに至り、此の事をも『新眞婦人』の一使命たらしめんとして今回家庭健康顧問會を發起しましたのです。

されども微力なる私共の力のみにては、此の會の目的を達することが出來ませぬから、諸先輩の御賛助を仰ぎたいと思ひます。幸ひ諸先輩の御賛助を得ば、獨り私共の悅こびではありませぬ。

賛助員御芳名（承諾順）

醫學博士　石川貞吉
ドクトル　渡邊鼎
醫學博士　高田畊安
ドクトル　中島鎌太郎
ドクトル　志村誠厭
至誠病院長　吉岡彌生
加命堂腦病院長　奈良林菱峯
青山腦病院長　齋藤紀一
ドクトル　葛岡宗吉

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家族に共通の長所と短所

健康顧問會へ入會をすゝむる文

西川光次郎

家族には、肉體上にも、精神上にも、共通の長所と短所とがあると云ふことを、私は此の頃痛切に感じて居ります。ソレは人樣の事を見てからでなく、自分の家族の事を考へてゞあります。

私は少し風氣になると直ぐ鼻が出る。私の兄弟姉妹の中にも特別に鼻に病のある人があります。私の妻も小さな時から咽喉が惡く、今でも少し風を引くと、直ぐ咽喉が痛みます。而して臭い痰が出ます。二人ともサウ云ふ風ですから、私共の子供は鼻や咽喉の病氣にかゝりやすい。肉體上、私の家族に共通の缺點は玆にあるのです。ですから近頃は、葛岡ドクトルに、鼻や咽喉を强健にする運動法を敎へて頂き、每日家族一同でソレをして居ります。

精神上にも、同じく共通の缺點あることは勿論です。これも研究の上、其の救治法を考へ、其の缺點を子供等の魂から拔き去ることに努力して居ります。

自分が近頃、カウ云ふ事を始めて居るにつけ、此の事を未だ氣付かざる多くの人達へ御知らせしたい考へが起り、之が動機の一になつて、今回健康顧問會を起すに至つたのであります。

會員になられた方には、本誌を御送り致すの外に、本社主催の諸種の會合へ無料にて出席するの特權を與へ、尙ほ御家族に共通の、肉體上、精神上の、弱點を御示し下されば、贊助員とも相談の上、ソレに對する適切な改善法を、私信で御知らせ致します。

之れに對し會員の義務としては、本誌を購讀して下

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さればよいのです、尤も入會の際には本誌一ヶ年分一圓二十錢を前納して貰はねばなりませぬ。

どうか健康顧問會へ御入會下されて、お互に自分の家族に共通な、肉體上、精神上の缺點弱點の改善を計らうではありませんか。

伊吹氣の説

川面凡兒

祓と云ふことは、張と云ふこと、卽ち直靈を張ることである。和魂の中の魂たる直靈を振り起して全心身を支配せしむることであるが、鼻から充分息を吸うて下腹をふくらし、暫らく息を切つて、其の息を全身の細胞より出すことにするのは、此の祓の精神に叶つて居る。今の言葉で云ふ細胞は八十萬魂であつて、八は無限數を意味して居るのである。私の方では鼻から空氣を吸うて、口から吐くのを表伊吹氣と云ひ、鼻から空氣を吸うて全身の細胞から出すのを裏伊吹氣と稱して居る。

○

兩手の指を組み合せて上下しながら、口には神の御名や祓の言葉を唱へつゝ全身全靈に振動を與ふれば、何時しか身も心も清淨となる、此の振動することを振魂と云ひ、其の結果として心身が清淨となつた樣を、鎭魂と云ふ。鎭魂の狀態とは、魂が靜止の狀態に入つたと云ふのではなくて、ものが一杯に充ち滿ちて活動して居る樣を云ふのである。

禊のミは神の御魂を我が心身に注ぐことを意味し、又ソは我が身の罪咎を神の御魂で削ることを意味し、又ギは神の以吹氣と我が以吹氣を合體せしめて働くことを意味して居るのだが、此の禊の目的も鎭魂狀態へ入

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ることを意味して居るのである。

○

兎角人間は目の欲に全身を支配されたり、或は口の欲に全身を支配されたり、或は又肌ざはりのよいものを着たいと云ふ欲に全身を支配されたりするものであるが、部分の欲が全身を支配する様になれば身が破滅となるより外に途がない。

ソコで私は以上の方法で凡ての邪念惡念を拂ひ去り和魂の中にある魂、即ち直靈、今の言葉で云へば潜在意識を呼び起して來て、全身を統一支配せしめよと云つて居るのである。此の方法は何にも病氣癒しを主として居るものではないが、此の方法にて病氣の癒つたものが幾人あるか知れぬ。ドンナ病氣でも癒つて居るソレは其の筈、全心身の統一がつけば、病氣位は何んでもなく癒るべき筈のものである。

右は三月十一日午後、雪の降る日に先生を谷中初音町の稜威敎會に御訪ねして聞き得たお話中の要點ですが、法華の人達がお題目を唱へて病氣が癒つたり眞宗の人達がお念佛申して病氣か癒るのと、餘程似て居る樣に思はるゝ。

自然療法講義（四）

ドクトル　葛岡宗吾

病熱に就て

吾々の不養生から體内に諸種の有害物が積つて來ると何んとかして之れを體外へ排泄して了はねと、一命にもかゝはることになつて來る。ソコで病熱が出て來て之れを燒き盡し、痰、汗、大便、小便等と爲して體外へ排泄せんとするに至るのである。されば病熱は、每年私共がする煤掃の様なものである。吾々は之れをウッカリやつて居る不養生、不衞生に對する神の警告だ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

として、感謝して受けねばならぬのである。

病熱は前にも述べし通り、吾々の身體に對して煤掃の働きを爲すものであるから、體内の有害物を燒き盡して了ふと、熱は自然に下る。ソレを待たずして勝手に熱を下げるのは宜しくないことです。餘り高熱で苦しい時には、止むなく少しは下げねばならぬが、成るべくは我慢して、藥などで熱を下げる工夫をせぬ方が身體の爲めになる。無理に熱を下げると、一時はよいようでも、大變に疲勞するから結句惡い。

此の事は素人ばかりでなく、醫者の中にすら知らぬ人も尚ほ多いが、實際無理に熱を下げて人を殺して了つた例もあることですから、心得て居らねばならぬ。

足先の冷える人

或人が足先が冷へて、絶えず炬燵へ入つて居らぬとやり切れぬので、辛湯其他、人のよいと云ふ方法を色色試みたが、どうしても癒らぬ、何にか工夫のないものかと、私の所へ相談に來た。私は毎日半時間づつ其人の足の指先に、適當な運動を與へた所、其の部分の血液の循環がよくなつて、たつた三四回で、少しも足先の冷えぬ様になつた。

神經衰弱

一切の神經衰弱は斯くすれば癒る。

卽ち拇指を以て神經の根（メデユラー、オブ、ロンガタ）に振動を與へ、次に二本の指先で後頭骨をおし更に第一の首の骨をマッサーヂして次第に下へ脊髓に沿うて兩方へ神經をマッサーヂする之れを毎日やつて居れば大概な神經衰弱は忽ち癒る。

近視眼の人

近視眼其他で眼のつかれ易い人は、毎日一度づつ、左右三本づつの指先で、眉毛の下を、下から上へ動かし、眼の外側の角の所を指先で丸く動かし、又眼の下の筋肉を同じく指先で動かすもよい。モウ一つ顔を動かさずに眼球を動かして、上を見たり、下を見たり左右を視たりするのもよい。

毎日斯かる運動をして居れば、眼の筋肉が強くなるから自然眼の疲れることが少なくなつて來る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

音信

▲吉川たみ子様より　悴の渡米見送りのため上京致し候同人手術を受け看護中にて手ばなし兼候ところ今日は一寸外出致し候に付一走り參候處御不在にて殘念至極、明日は又手術の日にて參上も御面會も出來ず、四五日相經ち候はゞ又參上可致候、來る廿一日出帆の丹波丸にて多分出發可致候間其内に横濱へ引移可申、それまでは悴の事にかゝりきりにて私の交際はとめられ居候間其後まで御まち被下度候。

弟の男兒東京にて修業させるためしばらく滯在致し候間ゆる〳〵御目にかゝられ候。

悴はアラスカへ歸る都合雜誌海外にも同人の談出で居り候。

▲長田様より　春寒いまだ嚴しく候處いよ〳〵御清祥何よりの御事に御座候。

私事いろ〳〵と御心にかけたまはりましたがやうやく上京を許され申し候間御多忙中誠に恐れ入り候へ共それについて御配慮御願ひ申上候東京府下府中町には姉夫婦居住いたし居り候へ共私はそれに相談いたす事はこのまず唯々先生の御親切におすがり申すものにて候。

また今後學校に入りて勉強する希望は之なく候父母の心にそむきて我まゝを通し候上は家の補助はうけたくなき故に候。

私如き無學なる者にても東京に於て自活し得らゐべく候哉、尤もたえず勉強して居りますから小學卒業以上の學力はある事と信じます、然し腦を病みましたので數學の如きものはすこしもできません、事務員になるとしましても計算整理などの事務はとれませんので誠にこまります、適當の職業なきときは女中奉公にてもよろしくあります、仕事はなんでもいたしますが、立派な御家に奉公いたし度く存じます、私如き者は圓滿なる家庭の感化をうけたらよいだらうと存じます、裁縫は和服一通り心得て居ります何卒先生御心あたりがありましたら御世話下され度お願ひ申しあげます、履歴書戸籍謄本など必要に候はゞたゞちに御送り申し候まづ御依頼まで。

誠におはづかしく候へども私方にて作りました品すこしばかり鐵道便にて御送り申しあげ候。

わざ〳〵さしあげます程の物にては之なく候へ共田舍の事にて何もなく候まゝ獨り苦笑しつゝこんなつまらぬものを御送り申し候。御笑納下さらばうれしく候。

▲好子様より　誠に御親切な御厚情の段私は先生の御心の誠に御やさしくありがたきを思ふと貰い〳〵オカア様のやうな心地が致されます。

日頃御忙しい先生が見も知らない一個のつまらない私といふ女の爲に御奔走下さるゝと思ふと實に〳〵堪へられません。

先生さぞ〳〵御忙しう御座いませう深く御察し申します。

若い御婦人にはといつも申さるゝ御言葉では御座いましたが決して私は肉體に於ては若いかも知れませんが最早や獨立して職につかんとするものが何時まで若い若いとは思へません先生の御言葉は御尤で御座いますが私を若いからとか申されないで何なりと出來ると御ぼしめしの事は御命令下さいまし勿論私ではとても出來ないと御ぼしめさるゝならば無理にと御願ひは致しません先生どうか出來る事は御命令下さいまし私は喜んでいたします只先生にのみ御世話になりながら安穩としては居られませんから只東京で先生を御たよりに心強く思つて居ります故先生の御助けの一つでもさして戴く事は私の義務だと思ひます御都合なら仕立ものでもいたし

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ます私は永久に御恩に報ゆろ考で御座います。

▲留都女様より　いつも御さかんにて御喜び申上候、此の度は御れんごろなろ御はがき頂きいたみ入り候、姉は少しは筆もつすべ存じ居り候へど私の方はからきしだめに御座候、然し折角の御言葉に對し其のまゝ打ちやらかしおくも失禮と存じ日記の中から拾ひ集め御笑ひぐさまでに御目にかけ候、もとより素養もなく修養もなき身故御役にたつべくも候はねどこんな事にて御よろしく候はゞいとやすき御用に候間御編輯の御都合により何時にても御間にあはせ申べく何卒いと小さき同情者の一人として御覺え下され度候。

末乍ら御健康と御發展を祈り上げ候。

▲片山廣斗様より　拜啓過般御來訪相成候處折惡く不在失禮此事に候同時に御雜誌御送與に預り御禮申候……重れて御紹介被下候事御芳志奉謝候開放的の仕事は我等の力には不相應なれども幸に智識階級の御同情に依り効果を生ずることを確信し今後一層内容の充實に意を傾け當初の所期に近づきしものを實現することに骨折り可申候。

右御禮申上度得貴意候敬具（三月四日）

○春の白木屋

日本橋白木屋呉服店にては四月一日より春季大賣出しを行ひ各種の催物をなす趣なるが其一は新製品陳列會にて此は例年春秋二季に開催し來り一般の歡迎を受け居るものなり本會は友禪帶地御召を始め毛織物モスリン木綿に至るまで本季の新流行品一切を階下及二階の陳列場にカードを附し陳列せるにて來客は一巡して本年の新趣味に通ずる事を得べしとなり次に一日より八日まで京都十六畫伯新作品展覽會なるものを開催する由なるが此は其名の示すが如き催物にて何れも新作品の事故其道の人々に多大の興趣を與ふる事ならんと思はる次に五月人形陳列會を十日より五月四日迄開催し人形及幟類を一式蒐集し正札にて販賣する事となり居れるが本年は特製品の數も増し規模を大にして陳列すると云へば一覽の價値だけにても確ならんと思はるゝなり最後に本年流行洋傘陳列會を開催し男子春夏季用の洋傘を取揃へ販賣する趣なり尙よせ切れ見切反物は四月は特に品種を増し一日より盛に賣出す趣なれば是亦一般來客の群集を見る事となるならんか餘興は「つくり浦島」と稱する少女劇にて春の氣分に適したる極めて上品にて且つ賑々敷ものなれば例に依り喝采の中に連日演技を續くる事なるべし斯くて四月中の白木屋は日々の雲集の來客を以て店内は盛況を呈さんと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲大森美子様より　春になりましてより御寒一入きびしう御座いますが先生には御無事で何かと世の婦人たちのために御心つくし下さいまして誠にありがたく存じますほんとにこんなにして多くの女性をあかるき所へ御みちびき下さいます事をどの様にありがたく思うて居りませうこんな田舎に居りますけれども只今は御花御茶や御琴に熱中して居るほんとに幼い貧弱な感想をもつてまだ〳〵遊び度い〳〵と願つて居ります自分にこれから先どの様な苦しい又樂しい事が來るか分りません又生涯涙を以て掩るべく悲しい生活が來るかも分りませんけれども今分の所では唯樂しい〳〵物質的にも精神的にも自由な嬉しい月日を送り居ります先生ほんとに都會は何かとこみ入つた事が多いやうで御座いますればほんとにいつも〳〵先生の御親切な御同情ある御心に涙して感謝いたして居ります。

いつまでも〳〵も先生の御導き下さいます事を生涯忘れず唯只管によい人になり度いと思つて居ります。

▲石澤久五郎様より　拜啓先日御參堂御邪魔申上げ候。

さて親戚よりの紹介にて年若き婦人の來りて就職を求め申候然るに御承知の通り小生には其の方面極めて不案内に候ため何れ知る方に問合せの上と申してかへし申候。

さて紹介人よりの書面によれば彼女は不幸なるものにて無情なる父の手を離れて上京せるもの母は死亡現在は繼母、叔父の許にありて小學校を卒業し、棚橋女史の高女校を二年まで修めたるよしに候。

こゝ十二ヶ年間許は父の所在不明なりしよしに候それをこの三年漸く分明し大連なる父の許に行きしも彼の子に對する愛情は冷かにこゝに彼女は同じく大連に居る間小學校教師の配慮にて上京し來りたるものに候。

希望は文學に趣味を有する爾して文學に關係ある雜誌社に事務員なり何なりに傭はれたしとの事に候此點につきては小生より彼女に對し注意もいたし候就ては甚だ恐縮には候へど彼女の獨立して生活し得べき恰當の働き口に御心當り無く候やその方面に御關係多き貴下に御願申上げ候若し御心當りも有之候はゞ御都合にて本人をして貴宅迄伺はせ申べくと存居候又小生の考としては健實なる家庭の家に居つゝ女書生として御厄介に相成り候てもよろしからんと存居候まづは御依頼まで御都合御一報被下度候早々。

▲中島誠子様より　時候の御障りもなく相變らず御活動の御事と嬉しく存じ上候毎々雜誌御發送被下有難く御陰様で田舎に居ながら大正の風にふかれ居候私本年は正月早々より病の御入來をうけ一時は入院致し居候ひしも餘り寒かりし爲中途より當地に入湯養生致し十二月號新年號二月號とつゞけに漸く四五日前拜見致し候十二月號にて自己省察の御說大に同意にて嬉しく新年號は凡て私をして始終樂しく讀ましめし上に忍子姉の御話をも聞く事を得てにぎ〳〵敷心地致し候二月號は折しも病中の身に候へば衞生上の事注意を引き拜見致し候兎に角今少し御近に候はゞ時々は御出逢ひしこへだてぬ御話も致すべきにと今更の如く此の九州のはてに一人ぼつちがうらみに候然しこれも何か神に思召ある事と存しては却て面白く候時下御いとひ被遊度。

▲田中様より　拜啓まだ雪をもつ薄暗い低い雲は寒い風が吹いてなか〳〵冷たく昨日より飾られた雛様も寒く見えます貴社の御隆盛は日に月に益々御榮え同志の仁多くなられますのは誠に御目出度存じます。

扨て昨日友人より惠贈され候御社發行新眞婦人卅四號を拜見仕り候に樋口女史の婦人と職業教育の終りに附記され候御助力のこと承知仕り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此段小生妹の爲め一つ良方法御敎授にあづかり度失禮なも顧みず紙面を以つて願上候敬具。

▲下川ふぢ子樣より　氣候不順にて御座候處御機嫌よろしく御暮被成候哉御伺ひ上候私事無事にて消光致し居ります御休神被下候平素は御無沙汰致し相すみ不申候さて毎月雜誌御惠贈被下恐入申候一ヶ年に相成候やうに存ぜられしがしかと記憶致しをらず候につき甚だ御手數ながらいつよりか御返事頂き度御願ひ申上候草々。

▲近藤なほ子樣より　御無沙汰のみ致して居ります皆樣御變りありませんか、私は父死後の悲慘に堪へ得ず神經衰弱となつた妹を看病せんとて田舍に參りました力強き新眞婦人の話を聞かせんとしても病める人には悲しき打沈みたる事のみ好むをいたしかたく苦しみますよき御考へ御敎へ下さいませ皆樣に宜しくわか子は今年から學校に行きます雪子さんに御手紙上げるのだと申してたのしんで居ります。

▲山盛美喜子樣より　餘寒去り難き折から御内皆々樣御障りもあらせられずや御伺申上候其後はいつも〳〵御無沙汰致居候處每々雜誌御送付を賜り厚く御禮申上候何れ參上御話し致し度先は御無音かた〴〵御禮のみ早々。

▲碧川かた子樣より　拜啓御一同樣御無事に御暮被遊候や奉伺候日頃の御無さた平に御許ろし給り度願上候扨て私最愛の長女事一月から風にかゝり長引き候結果此頃に至りて肺にならぬとのみに相成候母の心痛かなしみとくろしみに心も身も堪へがたき時と日を送り居り御同情被下度候醫師の言葉にも藥なくさめの樣の者と養生專一とのみに御座候此上は御承知の藤田先生の敎を受けてむすめの命を助けていたゞき候何卒御住家を御知らせ被下度候又御光來を願候を如何致て宜しく候や何卒御願申上候……御願迄早々。

▲小針久子樣より　亂筆にて失禮ながら御頼み申上候都にては早や彼岸櫻も間近き事ならんと思居候こゝ山里にては未だ綻明る事さへ出來ず時々の雪に困りおり候兼ねてより貴社の新眞婦人友より送られて拜讀致し有益の讀物に喜び申おり候私事も何とかいたし職業を得んと思へど都の有樣も知らず一人考へ候も如何ともなし難く候折から二月號婦人と職業敎育と云ふ樋口絲子樣の記事拜見いたし是非くはしく承りたく思ひ候間何卒至急恐入り候へ共御敎へ被下度願上候學校は高等小學を卒へしのみにてなほ裁縫をいたし只今は家事に從事致しおり候又都合にて上京御拜堂いたし度くよろしく願ひ上候先づは御手數ながら至急願上候あら〳〵申述候。

▲田川大吉郎樣より　拜啓お尋ねの如き場合の有るべきことを豫想し能はず、故にお答への意見の立て樣なし、强ひて左樣の場合の有ることを想像するは不愉快に堪へず、故に一切思考致さず、隨つて全然お答への考案なし。

▲與謝野晶子樣より　お手紙ありがたく存じ申候私まだ產をいたさずこのことせまり居り候が極度の不安にて只今は何も手につき申さず候人にも危まれて昨日は病院へ入り申し候ひしかどしかもいまだこのけなく候へば今日はかへり居り候。おしめきりのころも産褥にあり候ことゝ(無事ならば)おもはれ殘念ながらおまに合ふまじと存じお斷りまで一寸申し上げ候。双胎とはじめは醫師にも云はれ申し候へしが今日某博士の診斷にていなあらずと知り氣やすきに候。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

西川光次郎主筆

自働道話

平易簡明に、實踐道德、新道德を説く雜誌にして、

▲四六倍形八頁
▲一部郵税共二錢五厘
▲一年同卅錢
▲每月一日發行

四月號の要目左の如し

不足の生立(西川光次郎)、海外發展の新福音(岡本米藏氏の事績き)、强健の根本と其の要訣(川合春充)、家庭の不和(竹内師水)、健康問答(ドクトル)渡邊鼎、ドクトル葛岡宗吉)、至誠心(記者)

新眞婦人社

新眞婦人合本

(自一號 至十二號) 定價郵税共一圓

合本第二卷 (自十三號 至二十四號) 同

本誌定價の改正

四月號から本誌の定價を一錢値上げ、郵税共に二錢、半年六十五錢、一年一圓二十錢と云ふ事に改正致します。用紙騰貴の結果止むを得ずの定價改正です。

本社の相談部

▲本社内に相談部を設け
(1) 職業を求むる御婦人
(2) 職業の選擇に迷ふ御婦人
(3) 家庭及び一身上に苦悶ある御婦人
(4) 結婚の事
等の御相談に應じます
▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後四時より御出で下さい。
なほ右の件につき手紙で御相談下されば、直接又は誌上にて御答へすることにいたします。

新眞婦人定價表(每月一回一日發行)

一冊(郵税共)	拾二錢
半年分(郵税共前金)	六拾五錢
一年分(郵税共前金)	壹圓貳拾錢

◎新眞婦人廣告料 特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正五年三月廿七日印刷納本
大正五年四月一日發行

發行兼編輯人及印刷人 本郷區駒込動坂町三二七番地 西川文子

印刷所 本所區番場町四番地 凸版印刷株式會社分工場

東京市本郷區駒込動坂三二七 新眞婦人社 郵便振替貯金口座東京(二四五五六)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四月の三越

一日より

第卅一回 新柄陳列會（十五日迄）

和田英作氏筆油繪 富士山と薔薇展覧會（十五日迄）

寄裂見反切物大賣出し（廿五日迄）

五日より

五月人形陳列會

洋傘陳列會

十日より

懸賞裾模樣圖案陳列

廿日より

日本書道會主催 第五回書道會展覧會（廿六日迄）

◆東京駿河町◆

三越呉服店

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人第三十六號

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正五年三月

大正五年四月一日發行（每月一回一日發行）

定價金拾壹錢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

復刻版　新真婦人　全6巻
付録1・別冊1
1994年10月31日　発行
本体揃価格　120、000円

発行者　船橋 治
発行所　不二出版
東京都文京区向丘1-2-12
〒113 ☎03(3812)4433
印刷所　三 進 社
製本所　青木製本所
中性紙使用
乱丁・落丁はお取り替えいたします。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

GEISEL LIBRARY
UNIVERSITY OF CALIFORNIA, SAN DIEGO
LA JOLLA, CALIFORNIA

UNIVERSITY OF CALIFORNIA, SAN DIEGO
3 1822 02333 1119

East Asia
HQ
1767
.S55
v.1

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

UNIVERSITY OF CALIFORNIA, SAN DIEGO
3 1822 02333 1119

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA